

大島海洋国際高校 令和2年度 現代文B 年間授業計画

教科:(国語)科目:(現代文B) 対象:(第3学年A組、B組) A:3単位 B:2単位

教科担当者:(A組・B組: 須賀 建明 ㊟)

使用教科書:新編現代文B(教育出版)

使用教材:読解を深める現代文単語、LT現代文2、プレゼミ総合国語、パーフェクト常用漢字

指導内容 【年間授業計画】	現代文Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	<p>【課題学習】 評論一</p> <p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語(主部)・述語(述部)の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<p>課題提出【関心・意欲・態度】 【書く力】</p>	9相当
5月	<p>【課題学習】 評論一</p> <p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語(主部)・述語(述部)の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<p>課題提出【関心・意欲・態度】 【書く力】</p>	9相当
6月	<p>【課題学習】 表現</p> <p>○自分の意見や主張を、論拠を述べながら的確に書く力を身に着ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現表記や原稿用紙の使い方を身に着ける ・序論、本論、結論の構成に従って段落分けして書く ・問題文や資料を正確に読み取り、それについて自分の意見を述べる 	<p>課題提出【関心・意欲・態度】 【書く力】</p>	5相当
6月	<p>【web授業】 評論二</p> <p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語(主部)・述語(述部)の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<p>・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】</p>	4

7 月	【web授業】 評論二	<p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語（主部）・述語（述部）の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	2
	評論二			3

8月	評論三	<p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	7
9月	【以降通常授業】 評論五	<p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対比、二項対立の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	6
10月	評論五	<p>○難解な評論を的確に読み取る力をつける。さらに、書かれた内容に対する自分の意見を的確に述べる力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対比、二項対立の把握 ・抽象度の高い語句の正確な理解 ・各段落の全体構成における役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	6
	評論六	<p>○現代の事象を取り上げた評論について、筆者の主張と、その根拠となる表現を照らし合わせながら精読させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語 ・接続語 ・論の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	2
11月	評論六	<p>○現代の事象を取り上げた評論について、筆者の主張と、その根拠となる表現を照らし合わせながら精読させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語 ・接続語 ・論の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	6

12月	評論七	<p>○現代の事象を取り上げた評論について、筆者の主張と、その根拠となる表現を照らし合わせながら精読させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語 ・接続語 ・論の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【読む力】 	6
1月	表現	3年間の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、ノート提出【関心・意欲・態度】 ・授業プリント、ワークシート【書く力】 	2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科国語 科目国語表現 年間授業計画

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組、B組

教科担当者：(A組～B組：須賀、竹内)

使用教科書：(国語表現 大修館書店)

使用教材：(国語表現ナビ、小論文頻出テーマ解説集「現代を知る」、小論文頻出テーマチェック&ワーク)

	指導内容	科目国語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 文章表現の基本	○正しい文章表現の仕方を身に着ける。 ○書き言葉としての適切な表現や、読みやすい文章構成について知識を深め、自ら意識して書けるようになる。	授業態度 提出物 発問	2相当 2相当
5月	【課題学習】 文章表現の基本	○正しい文章表現の仕方を身に着ける。 ○書き言葉としての適切な表現や、読みやすい文章構成について知識を深め、自ら意識して書けるようになる。	授業態度 提出物 発問	6相当 2相当
6月	【課題学習】【web授業】 志望理由書を描く	○自分が卒業後に学びたい学問はどのようなものなのか。その概要をまとめさせる。 ○自分が卒業後に学びたい学問の概要や、そのなかで特に突き詰めて学びたい分野について、社会的な問題も絡めながら論じさせる。 ○文章の構成を意識しながら志望理由書をまとめさせる。 ○文章の構成を意識しながら志望理由書をまとめさせる。	授業態度 提出物 発問	4相当 web2
	【web授業】 志望理由書を描く	○自分が卒業後に学びたい学問はどのようなものなのか。その概要をまとめさせる。 ○自分が卒業後に学びたい学問の概要や、そのなかで特に突き詰めて学びたい分野について、社会的な問題も絡めながら論じさせる。 ○文章の構成を意識しながら志望理由書をまとめさせる。	授業態度 提出物 発問	web4

7 月	要約を書く	<p>○文章の構成を意識しながら志望理由書をまとめさせる。</p> <p>○新聞記事の要約をとおして、文章の要点を正確に把握し、まとめる力を身につけさせる。</p>		2
--------	-------	--	--	---

9月	<p>【以降通常授業】 小論文（課題文型）を書く。</p>	<p>○課題文で述べられた内容を正確に把握し、要約する力を身につけさせる。 ○課題文をふまえながら、それに対する自分の主張を論理的に述べる力を身につけさせる。</p>	授業態度 提出物 発問	8
10月	小論文（資料型）を書く。	<p>○資料にまとめられた諸々の数値を正確に読み取る力を身につける。 ○資料から明らかになった事実に対する自己の主張を論理的に述べる力を身につけさせる。</p>	授業態度 提出物 発問	8
11月	<p>小論文（テーマ型）を書く。</p> <p>討論する</p>	<p>○漠然と設定されたテーマに対して、自身でテーマを具体的に絞り、論じる力を身につける。 ○社会的な事実や、それに対する知識をふまえて自己の主張を論理的に述べる力を身につけさせる。</p> <p>○ディベートを通して、話す順序や、他者の意見との相違点を整理しながら自己の主張を述べる力を身につけさせる。 ○他者との意見のやりとりを通して、考えや問題の解決法を探る力を身につけさせる。</p>	授業態度 提出物 発問	6 2
12月	<p>討論する</p> <p>手紙を書く</p>	<p>○ディベートを通して、話す順序や、他者の意見との相違点を整理しながら自己の主張を述べる力を身につけさせる。 ○他者との意見のやりとりを通して、考えや問題の解決法を探る力を身につけさせる。</p> <p>○前文、主文、末文、後付といった手紙を書く際の様式、形式について理解させ、手紙を書く力を身につけさせる。</p>	授業態度 提出物 発問	4 2

1 月	手紙を書く	○前文、主文、末文、後付といった手紙を書く際の様式、形式について理解させ、手紙を書く力を身につけさせる。	授業態度 提出物 発問	2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 政治経済 年間授業計画

教科：（公民）科目：（政治経済） 対象：（第3学年B組：選択） 単位数：2単位

教科担当者：（B組：高沼◎）

使用教科書：東京書籍 高等学校 政治・経済

使用教材：最新図説 政経

	指導内容 【年間授業計画】	科目政治経済の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定時間数
4月	<p>【課題学習】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ①国際政治の特質 ②国際社会と国際法</p>	<p>【課題学習】</p> <p>第1章 政治経済 5節 現代の国際政治 ①国際政治の特質 国際社会の成立過程と特徴について理解し、今日の新たな動向について考察する。 ②国際社会と国際法 国際秩序の確立を企図して生まれた国際法の歴史とその特質を明らかにし、その役割を認識させる。</p>	<p>課題学習</p> <p>【関心・意欲・態度】 【知識・理解】</p>	<p>課題学習 4相当</p>
5月	<p>【課題学習】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ③国際連合の役割と課題 ④戦後国際関係の展開と日本</p>	<p>【課題学習】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ③国際連合の役割と課題 国際連盟の限界と国際連合の目的・昨日について理解させる。その際、冷戦後の国連の課題や日本の国連とのかわりについても考えさせる。 ④戦後国際関係の展開と日本 第二次世界大戦後の国際政治の動向について、冷戦期および冷戦後の両方の時期で理解させ、現代の国際政治の動向についても考えさせる。</p>	<p>学習課題 学習課題回収</p> <p>【関心・意欲・態度】 ・提出状況 【知識・理解】 ・提出物の正答率</p>	<p>課題学習 4相当</p>
6月	<p>【課題学習】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ⑤国際政治の課題</p> <p>【WEB授業】</p> <p>4・5月の課題学習の内容 補填・解説 ⑥地球環境問題と資源・エネルギー問題</p>	<p>【課題学習】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 ⑤国際政治の課題 核軍拡競争と、反核運動の流れを理解させ、地域紛争や難民問題、テロリズムの拡散など冷戦後の国際政治の課題について考察させる。</p> <p>【WEB授業】</p> <p>4・5月の課題学習の補填・解説を行う。 ⑥地球環境問題と資源・エネルギー問題 グローバル化の進展にともなう今日の地球環境問題や資源・エネルギー問題について理解させ、持続可能な社会を形成するためにどのような課題があるかを考えさせる。</p>	<p>学習課題 学習課題回収</p> <p>【関心・意欲・態度】 ・提出状況 【知識・理解】 ・提出物の正答率</p> <p>Web授業 【関心・意欲・態度】 ・取り組み姿勢</p>	<p>課題学習 4相当 Web授業 3</p>
	<p>【WEB授業】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治</p>	<p>【WEB授業】</p> <p>第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治</p>	<p>Web授業</p> <p>【関心・意欲・態度】 ・振り返り、次節</p>	<p>Web授業 3</p>

7月	<p>⑦国際社会における日本の役割</p> <p>【通常授業】 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立</p> <p>第1回考査</p>	<p>⑦国際社会における日本の役割 戦後日本外交の歩みを理解させ、日本外交の課題と平和憲法をもつ日本の果たすべき役割について考えさせる。</p> <p>【通常授業】 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立 経済活動について理解させ、資本主義経済の成立過程や特徴を考察させる。</p>	<p>通常授業 【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p> <p>第1回考査 【知識・理解】</p>	<p>通常授業 2 考査 1</p>
----	--	---	---	--------------------------------

8月	<p>【WEB授業】</p> <p>第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ②資本主義経済の発展と変容</p>	<p>【WEB授業】</p> <p>第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済 ②資本主義経済の発展と変容 資本主義の変容について社会主義との関係を踏まえながら理解させる。また、1970年代以降の新自由主義の動向についても考察させる。</p>	<p>Web授業</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・取り組み姿勢</p>	<p>Web授業</p> <p>1</p>
9月	<p>【以降通常授業】</p> <p>第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界</p>	<p>第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 三つの経済主体と経済活動の流れを理解させる。 ②生産のしくみと企業 企業の役割や活動、株式会社の特徴について理解させ、企業の社会的責任について考察させる。 ③市場経済の機能と限界 市場における需要と供給のしくみについて理解させ、市場経済の問題点や競争を阻害する要因について考えさせる。</p>	<p>【思考・判断・表現力】</p> <p>・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業態度 ・課題提出状況</p>	8
10月	<p>第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能</p>	<p>第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ ④国民所得と経済成長 経済活動を把握するための指標について理解させるとともに、景気動向や物価についても考察させる。 ⑤金融のしくみと機能 通貨と金融の役割および中央銀行の金融政策について理解させる。 ⑥財政のしくみと機能 財政の役割および財政政策について理解させ、現在の日本の財政赤字などの問題や税負担の問題について考えさせる。</p>	<p>【思考・判断・表現力】</p> <p>・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業態度 ・課題提出状況</p>	8
11月	<p>第2回 考査</p> <p>第2章 現代の経済 3節 日本経済の発展と産業構造の変化 ①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状</p>	<p>第2回 考査</p> <p>第2章 現代の経済 3節 日本経済の発展と産業構造の変化 ①経済再建から高度成長へ 戦後経済復興の背景と高度経済成長の要因について理解させる。 ②オイル・ショック後の日本経済 高度経済成長が終焉したのちの産業構造の高度化や日米経済摩擦について理解させ、バブル経済の発生と破綻した理由について考えさせる。 ③日本経済の現状 バブル経済破綻後の経済状況や「構造改革」などの経済政策について考えさせ、東日本大震災後における日本経済が抱える課題について考察させる。</p>	<p>第2回 考査</p> <p>【知識・理解】</p> <p>【思考・判断・表現力】</p> <p>・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業態度 ・課題提出状況</p>	<p>6</p> <p>考査</p> <p>1</p>
	<p>第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題</p>	<p>第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題 ①公害と環境保全</p>	<p>【思考・判断・表現力】</p> <p>・発問状況 ・課題内容</p>	<p>6</p> <p>考査</p>

12月	<p>①公害と環境保全 ②消費者問題 ③農業・食糧問題</p> <p>第3回考査</p>	<p>公害と環境保全 公害の原因と政府の公害対策について理解させ、環境問題や循環型社会形成に向けての課題について考えさせる。</p> <p>②消費者問題 消費者保護や自立のための法律や制度、消費者問題の課題を理解させ、契約についても考えさせる。</p> <p>③農業・食糧問題 農業の現状を理解させ、今後の農業のあり方について考えさせる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p> <p>第3回考査 【知識・理解】</p>	1回
1月	<p>第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉</p>	<p>第2章 現代の経済 4節 社会福祉と日本経済の課題 ④中小企業の現状と課題 日本における中小企業の位置づけ認識させ、大企業との格差や中小企業の課題について考えさせる。</p> <p>⑤雇用と労働問題 労働問題の歴史、労働三権の内容や労働市場の変化などについて理解させ、労働をめぐる環境の変化や現在の雇用問題について考えさせる。</p> <p>⑥社会保障と福祉 社会保障の意義やしくみ、少子高齢化が進む日本の現状について理解させ、日本の社会保障制度の課題について考察させる。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容</p> <p>【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p>	4

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：数学 科目：数学ⅡB演習 年間授業計画

教科：数学 科目：数学ⅡB演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組

教科担当者：(山口 哲平)

使用教科書：(Standard 数学Ⅱ, 及び Standard 数学B (東京書籍))

使用教材：(基礎からの数学Ⅱ+B Express (実教出版))

	指導内容	科目：数ⅡBの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 二項定理 整式の割算	<ul style="list-style-type: none"> 二項定理・多項定理の応用問題が解ける。 3次式の整式の割り算ができ、商・余りを求めることができる。 	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	4相当
	【課題学習】 分数式の計算 複素数の計算	<ul style="list-style-type: none"> 整式の因数分解、約分ができる。 分母の有理化、通分ができる。 複素数の分母を実数にすることができる。 		
5月	【課題学習】 剰余の定理・因数定理 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> 剰余の定理を利用した応用問題を解くことができる。 恒等式の意味を理解し、恒等式の中の定数を求めることができる。 等式・不等式の証明を正しい方法で行うことができる。 	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	6相当
	【課題学習】 2点間の距離 直線の方程式	<ul style="list-style-type: none"> 線分の長さ、内分点・外分点の座標を求めることができる。 直線の方程式を求めることができる。 		
	【課題学習】 2直線の平行と垂直 点と直線の距離 円の方程式	<ul style="list-style-type: none"> ある直線に平行な直線と垂直な直線の方程式を求めることができる。 3つの直線(文字を含む)の交点の座標を求めることができる。 公式を利用して点と直線の距離を求めることができる。 3点を通る円の方程式を求めることができる。 		
6月	【課題学習】 円と直線の交点 円と接線	<ul style="list-style-type: none"> 共有点の座標を求めることができる。 接線の方程式を求めることができる。(3つの方法で) 	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2相当 WEB 3
	【WEB授業】 円と直線 (交わる条件)	<ul style="list-style-type: none"> 共有点をもつ条件を点と直線の関係から求めることができる。 円が切り取る線分の長さを求めることができる。 		
	【WEB授業】 円と直線 (交わる条件)	<ul style="list-style-type: none"> 共有点をもつ条件を点と直線の関係から求めることができる。 円が切り取る線分の長さを求めることができる。 		
7月	【WEB授業】 弧度法と三角関数の値 三角比の相互関係 三角関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の値(応用問題)を求めることができる。 三角比の相互関係を理解し、値を求めることができる。 三角関数のグラフをかくことができる。 	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	WEB 4
	WEB授業の復習	WEB授業の内容を理解する。		
	第1回考査			
	【WEB授業】 弧度法と三角関数の値 三角比の相互関係 三角関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の値(応用問題)を求めることができる。 三角比の相互関係を理解し、値を求めることができる。 三角関数のグラフをかくことができる。 		

--	--	--	--	--

8月	【WEB授業】 弧度法と三角関数の値 三角比の相互関係 三角関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の値（応用問題）を求めることができる。 三角比の相互関係を理解し、値を求めることができる。 三角関数のグラフをかくことができる。 	プリントの提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	WEB 1
9月	【以降通常授業】 弧度法と三角関数の値 三角比の相互関係 三角関数のグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の値（応用問題）を求めることができる。 三角比の相互関係を理解し、値を求めることができる。 三角関数のグラフをかくことができる。 	授業中の取り組み、宿題【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	加法定理 2倍角の公式 三角関数の合成 三角関数の最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理を理解し、値を求めることができる。 三角関数の合成ができる。 関数を2次関数で表し最大値・最小値を求めることができる。 		2
	加法定理 2倍角の公式 三角関数の合成 三角関数の最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理を理解し、値を求めることができる。 三角関数の合成ができる。 関数を2次関数で表し最大値・最小値を求めることができる。 		2
	指数法則と指数の計算 指数と式の値 指数関数のグラフ 対数	<ul style="list-style-type: none"> 指数法則を理解し、計算値を求めることができる。 指数関数・対数関数のグラフを書くことができる。 		2
10月	指数・対数関数の最大・最小 桁数の問題	<ul style="list-style-type: none"> 指数関数、対数関数の最大値・最小値を求めることができる。 指数で与えられた数の桁数を求めることができる。 	授業中の取り組み、宿題【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	導関数の計算 接線の方程式 極値と関数 3次関数最大・最小	<ul style="list-style-type: none"> 規則に従って微分をすることができる。 関数の極値を求めることができる。 関数のグラフをかくことができる。 		2
	不定積分と定積分	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分を求めることができる。 定積分を求めることができる。 		2
	応用問題	<ul style="list-style-type: none"> 微分と積分の応用問題を解くことができる。 		2
11月	第1回考査		プリントの提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	等差数列 等比数列 階差数列 さまざまな数列	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列を理解し、一般項を求めることができる。 等差数列・等比数列の和を求めることができる。 階差数列の一般項、和を求めることができる。 		1
				2
12月	等差数列 等比数列 階差数列 さまざまな数列	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列・等比数列を理解し、一般項を求めることができる。 等差数列・等比数列の和を求めることができる。 階差数列の一般項、和を求めることができる。 	プリントの提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	ベクトルの演算 ベクトルの内積 位置ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの演算（和・差）ができる。 内分点・外分点をベクトルで表すことができる。 ベクトルの内積を求めることができる。 		2

12	第3回考査			1
1 月			授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
	問題演習	問題を解くことができる		2
	問題演習	問題を解くことができる		2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：数学 科目：数学ⅠA演習 年間授業計画

教科：数学 科目：数学ⅠA演習 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組、B組

教科担当者：(A組：柴田) (B組：柴田)

使用教科書：(数学Ⅰ Standard (東京書籍) 数学A Standard (東京書籍))

使用教材：(基礎からの数学Ⅰ+A Express (実教出版))

	指導内容	科目数学ⅠA演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 使用教材である問題集に取り組む	問題集に取り組む中で1年時に学習した内容の復習をするとともに自分の理解度を確認する	課題に対する取り組み・提出状況【関心・意欲・態度】	6相当
5月	【課題学習】 使用教材である問題集に取り組む	問題集に取り組む中で1年時に学習した内容の復習をするとともに自分の理解度を確認する	課題に対する取り組み・提出状況【関心・意欲・態度】	6相当
6月	【web授業】 課題学習で質問が出たものについて解説 数と式	各自で取り組んだもののうち、難しかったものについて理解できるようにする 問題集の解説を進める中で理解を深めさせる	web授業に対する取り組み【関心・意欲・態度】	
				Web1
				Web2
7月	【通常授業】 2次関数 第一回考査 【web授業】 2次方程式	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 目標30点以上 問題集の解説を進める中で理解を深めさせる	授業に対する取り組み【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	
				2
				1 Web1
8月	【web授業】 2次不等式	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる	web授業に対する取り組み【関心・意欲・態度】	
				Web1
9月	【以下通常授業】 三角比	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる		8
10月	三角比 集合と論証	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する 問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する	授業に対する取り組み【関心・意欲・態度】 小テスト【知識・理解】	
				4
				4

1 1 月	第二回考査	目標30点以上	授業に対する取り組み【関 心・意欲・態度】 定期考査・小テスト【知 識・理解】	
	データの分析	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する		1
	場合の数	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する		2
				2
1 2 月	確率	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する	授業に対する取り組み【関 心・意欲・態度】 小テスト・定期考査【知 識・理解】	
	第三回考査	目標30点以上		4
				1
1 月	整数の性質	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する	授業に対する取り組み【関 心・意欲・態度】 小テスト【知識・理解】	
	図形の性質	問題集の解説を進める中で理解を深めさせる 小テストを行い理解度を確認する		2
				2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科芸術 科目音楽Ⅱ 年間授業計画

教科：芸術科 目：音楽Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～B組

教科担当者：(A組：白鳥) (B組：白鳥)

使用教科書：(Tutti 音楽Ⅱ 改訂版 教育出版)

使用教材：(教科書 教科書付属音源 楽器類 配布資料等)

	指導内容	科目音楽の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 楽典(音名、音の長さ)	・音符の長さや名称について理解することができる ・様々な音名と音階について理解することができる	【課題学習】 関心・意欲・態度	4相当
	【課題学習】 楽典(楽器の種類)	・楽器の構造を理解することができ、それによって生まれる独特の音色を知覚する	【課題学習】 関心・意欲・態度	
5月	【課題学習】 楽典(音名、音の長さ)	・休符の長さや名称について理解することができる ・様々な音名と音階について理解することができる	【課題学習】 関心・意欲・態度	8相当
	【課題学習】 楽典(リズム)	・拍子と音の長さをを用いて、リズムを理解する	【課題学習】 関心・意欲・態度	
	【課題学習】 楽典(楽器の種類)	・楽器の起源を辿り、その楽器の発祥を知る。	【課題学習】 関心・意欲・態度	
6月	【WEB授業】国歌	・日本の国歌を理解し、文化を理解する。	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	2相当
	【WEB授業】国歌	・北米、南米の国歌を理解し、異文化を理解する。	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	
	【WEB授業】国歌	・北米、南米の国歌を理解し、異文化を理解する。	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	WEB 4
	【WEB授業】国歌	・イギリスの国歌を理解し、異文化を理解する。	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	
	【WEB授業】国歌	・イギリスの国歌を理解し、異文化を理解する。	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	

7 月	【WEB授業】国歌	・アジアの国歌を理解し、異文化を理解する。	【WEB授業】関心・意欲・ 態度、知覚・理解	W E B 2
	【通常授業】楽典	・教材「ありがとう」を用いて、読譜を行うことができる	【通常授業】関心・意欲・ 態度、知覚・理解、工夫	2

9月	【通常授業】国歌	・アジアの国歌を理解し、異文化を理解する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解	2
	【通常授業】楽典	・音楽の構成を理解する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	【通常授業】ギター	・ギターの構造を理解し、その楽器の歴史を学ぶ	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	【通常授業】国歌	・ヨーロッパの国歌を理解し、異文化を理解する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解	2
	【通常授業】ギター	・ギターの構造を理解し、かつその音色を知覚する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
10月	【通常授業】鑑賞	・教材「ハウルの動く城」を鑑賞し、映画音楽を理解する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解	2
	【通常授業】ギター	・ギターの基礎的な演奏が出来る ・ギターの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
11月	創作表現	・言葉のリズムや抑揚を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫しながら創作をしている	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	創作表現	・言葉のリズムや抑揚を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫しながら創作をしている	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
12月	歌唱表現	・腹式呼吸による基礎的な歌唱表現ができる ・和音の響きを感じながら歌唱することができる ・胸声と頭声の区別ができ、転換点が出来ぬようになめらかに歌唱することができる ・声や楽器の音色の特徴と、表現上の効果とのかかわりを理解し、楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	歌唱表現	・腹式呼吸による基礎的な歌唱表現ができる ・リズムを感じながら歌唱することができる ・胸声と頭声の区別ができ、転換点が出来ぬようになめらかに歌唱することができる ・声や楽器の音色の特徴と、表現上の効果とのかかわりを理解し、楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2

1 月	器楽表現(合奏)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な器楽表現ができる ・リズムを感じ、周囲の音との交わりを知る ・楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている 	【通常授業】 関心・意欲・ 態度、知覚・理解、工夫	2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：英語、科目：時事英語 年間授業計画

教科：英語 科目：時事英語 単位数：4単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(大橋 いづみ)

使用教科書：My Passport English Conversation (文英堂)

使用教材：スクランブル英文法・語法 Scramble 4th Edition ランダムトレーニング問題集

	指導内容	科目時事英語の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	<課題学習> 文法学習 英文日記、時事的なテーマでの英文作成	(授業・課題なし) ・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、英文日記を書いたり、時事的なテーマで英文を作成する。	・プリント課題提出 【関心・意欲・態度】 ・正しい英文が相当量書けているか 【知識の応用】	16相当
5月	<課題学習> 文法学習 英文日記、時事的なテーマでの英文作成	・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、英文日記を書いたり、時事的なテーマで英文を作成する。	プリント課題提出 【関心・意欲・態度】 正しい英文が相当量書けているか 【知識の応用】	16相当
6月	<課題学習> 文法学習 <WEB授業> 文法学習	・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。	・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】	12相当 + web 4

7 月	<p><通常授業> 文法学習</p> <p><課題学習> 文法学習 英文日記、時事的な テーマでの英文作成</p> <p><WEB授業> 文法学習</p>	<p>・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】</p> <p>・考査の出来ばえ【知識・理解】</p>	<p>授業4 課題8 web 2</p>
8 月	<p><課題学習> 文法学習</p> <p><WEB授業> 文法学習</p>	<p>・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】</p>	<p>10 相当 web 2</p>

9月	<p><以下通常授業></p> <p>文法学習 時事的な英文の読解・聞き取り、関連するトピックについての調べ学習や発表活動</p>	<p>・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、時事的な英文を理解したり、トピックに関連する文章を書いたり、討論や発表活動を行う。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】 ・スピーチ原稿と発表の出来栄 【知識の応用・発表技術】</p>	16
10月	<p>文法学習 時事的な英文の読解・聞き取り、関連するトピックについての調べ学習や発表活動</p>	<p>・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、時事的な英文を理解したり、トピックに関連する文章を書いたり、討論や発表活動を行う。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】 ・スピーチ原稿と発表の出来栄 【知識の応用・発表技術】</p>	16
11月	<p>文法学習 時事的な英文の読解・聞き取り、関連するトピックについての調べ学習や発表活動</p> <p>*第2回考査</p>	<p>・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、時事的な英文を理解したり、トピックに関連する文章を書いたり、討論や発表活動を行う。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】 ・スピーチ原稿と発表の出来栄 【知識の応用・発表技術】 ・考査の出来栄 【知識・理解】</p>	16
12月	<p>文法学習 時事的な英文の読解・聞き取り、関連するトピックについての調べ学習や発表活動</p> <p>*第3回考査</p>	<p>・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、時事的な英文を理解したり、トピックに関連する文章を書いたり、討論や発表活動を行う。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】 ・スピーチ原稿と発表の出来栄 【知識の応用・発表技術】</p>	12

1 月	<p>文法学習 時事な英文の読解・聞き取り、関連するトピックについての調べ学習や発表活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既に学習した様々な文法事項を一層深く学んだり、演習を通して習熟したりする。 ・学習した文法事項や英語特有の表現などを活用し、時事な英文を理解したり、トピックに関連する文章を書いたり、討論や発表活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【文法事項に対する理解】 ・スピーチ原稿と発表の出来栄【知識の応用・発表技術】 	12

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科地歴 科目日本史A 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史A 単位数：2単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(佐藤岳咨 印)

使用教科書：(日本史A 現代からの歴史 (東京書籍))

使用教材：(地図帳)

	指導内容	日本史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 現代日本と古代日本の地理	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本における各都道府県、県庁所在地の把握 ・古代日本における行政区分の把握 ・現代日本と古代日本の行政区分の比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・課題内容のテスト 	6相当
5月	【課題学習】 近代以前の日本のようす (先史～古代)	<ul style="list-style-type: none"> ・地球誕生から日本列島、日本人の形成を通じ、わが国がどのように生まれたかを把握する。 ・近世までの日本のようすを政治体制、権力者の推移、対外関係、文化活動や作品など様々な観点から見つめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 	7相当
6月	【課題学習】 近代以前の日本のようす (中世～近世)	<ul style="list-style-type: none"> ・近世までの日本のようすを政治体制、権力者の推移、対外関係、文化活動や作品など様々な観点から見つめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・授業プリント 	6相当 WEB 3
	【WEB授業】 近代アジアの動向と欧州列強 開国前夜の日本 黒船来航と鎖国崩壊	<ul style="list-style-type: none"> ・17世紀後半の中国王朝を中心としたアジアの国際秩序と、それに対するヨーロッパの強国の挑戦について見ていく。 ・幕末期における日本のようすと、幕府と藩の対照的な改革の中身を理解する。 ・ペリー来航により開国した日本が欧米列強と結んだ条約の中身とその影響を理解していく。 		

7月	<p>【WEB授業】 【通常授業】 開国後の日本 幕末期の幕府の動乱 幕府の滅亡と戊辰戦争</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開国後の日本における影響を、貿易や国内経済を中心に見ていく。 ・将軍継嗣問題や尊王攘夷派への対策など混迷する江戸幕府のようすを、幕府内の派閥や雄藩・朝廷への対処などを通じて理解していく。 ・幕府の滅亡から戊辰戦争までを、倒幕運動や大政奉還などを通じて流れをおさえていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	WEB 3 授業 1
8月	<p>【WEB授業】 明治新政府の支配体制 と機構</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃藩置県による新たな中央政権の誕生の過程を理解する。 ・新政府の機構がどのように整備されたかを、当時の政府の思惑とともに理解していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	WEB 1
9月	<p>【通常授業】 明治維新と文明開化 自由民権運動の展開 国会開設と憲法制定 条約改正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明治政府が打ち出した諸改革に沿って、明治維新の過程を理解していく。 ・西洋文明の流入と文化の独自発展のようすを思想・宗教などを中心に見ていく。 ・明治初期の産業的発展と政府の支援政策についておさえていく。 ・国会開設を目指した運動の進展と、政府がどのような動きをしたのかを知る。 ・憲法以下諸法典の成立の過程と内容について、現代の類似法典との比較もふまえて理解する。 ・第一回衆議院議員総選挙のようすと、その後の「初期議会」の動乱をおさえていく。 ・明治新政府の重要課題である条約改正問題について、各外務卿（外務大臣）の施策を中心に条約改正までの流れを見ていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	9
10月	<p>【通常授業】 帝国主義と日清戦争 中国分割 日露戦争と韓国併合 近代日本の産業革命</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争に至る経緯を、欧米における帝国主義の広まりと東アジアへの進出、朝鮮国をめぐる日清両国の動向に沿って理解していく。 ・日清戦争後の清をめぐる列強諸国の動きと日本の国内外のようすを見ていく。 ・中国東北部（満州）をめぐる日露両国の動きと、日露戦争へと至るまでの流れをおさえていく。 ・日露戦争後の戦後処理と、二つの戦争の結果発生した日本での産業革命のようすを、戦後からの流れを意識して理解していく。 ・韓国併合に向けた一連の流れを、日韓での条約や列強への事前工作などを中心にみていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	9

11月	<p>【通常授業】 社会問題の続出と社会運動の勃発 第一次世界大戦中の日本 アジア地域の民族自決運動 大戦景気と社会運動の発展</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・政治が安定した「桂園時代」のようすと、第三次桂太郎内閣における第一次護憲運動の経過を見ていく。 ・資本主義の発展による社会問題の続出と、それに対する労働者や社会主義者の運動、またその対応としての政府の動きを各方面からおさえていく。 ・第一次世界大戦の発生と経過、その間のアジアにおける日本の動きを各国の視点から見ていく。 ・第一次世界大戦の戦後処理と、それに基づくアジアでの民族独立運動や国際的な平和への取り組みを理解していく。 ・大戦中に発生したロシア革命のようすと、新たな社会主義国家の成立に対する各国の対応や日本国内への影響をおさえていく。 ・大戦による日本国内での好況のようすとを各産業の面から見ていく。 ・米騒動に始まる、社会的弱者の人々による地位向上のための運動のようすと、それぞれの立場から見ていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	6
12月	<p>【通常授業】 大正デモクラシー 政党政治の発展 ワシントン体制と協調外交 関東大震災の発生と社会統制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大正期における自由主義的な思想の発展を、「民本主義」や「天皇機関説」など具体的な思想を例に挙げて理解していく。 ・大正期の大衆的な文化のようすとを見ていく。 ・原敬内閣の成立による本格的な政党政治の開始について、各内閣の具体的な政策などを通じて経過を見ていく。 ・ワシントン会議から始まる国際的な平和秩序建設のための取り組みと、それに呼応した日本政府の協調外交の展開をおさえていく。 ・未曾有の大震災の発生による社会的混乱のようすと、それに対する政府や軍部の動きについて、具体的な事件や法令にふれて見ていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	7
1月	<p>【通常授業】 世界的不況と昭和恐慌 満州事変と満州国 軍部の暴走と軍国化の進行 三国防共協定の成立 日中戦争の開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・震災後の日本経済復興までの展開と、世界恐慌の発生による日本経済の更なる落ち込みのようすと、各不況の連続性をおさえながら見ていく。 ・満州事変の発生と満州国の建設について、先の不況とも結びつけながら、事件の経過と日本政府の動き、それに対する国際連盟や世界各国の動向もふくめ流れをおさえる。 ・国体変革を望む日本の軍部や右翼による、過激派の暴走と政党政治の終焉のようすとを具体的な事件にふれつつ見ていく。 ・軍部主導による国家体制の軍国化の流れを具体的な法令、施策にふれて理解していく。 ・対ソ連を共通認識として独自に協定を結んだ日独伊三国の結成までの流れを、各国の事情について理解しながら見ていく。 ・日中での全面戦争のようすと、発生に至るまでの経緯と開始後の日中両国の動きを取り上げながらおさえていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・授業態度 ・発問評価 ・考査 	5

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科 理科 科目 生物 年間授業計画

教科：理科 科目：生物 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～B組

教科担当者：A組、B組： 関谷 祥子

使用教科書：改訂 生物 [東京書籍]

使用教材：七訂版 スクエア最新図説生物neo [第一学習社]、セミナー生物 [第一学習社]

	指導内容	科目 生物 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	春季休業（終）			12相当
	<p>【課題学習】 1年次履修の生物基礎復習</p> <p>【課題学習】 1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞</p>	<p>1年次に学習した生物基礎の内容を復習・演習し、理解を深める。</p> <p>・細胞がどのような成分で構成されているか理解する。 ・すべての細胞がもつ共通点が何か理解する。 ・真核細胞内の構造体について理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 課題学習プリント</p>	
5月	<p>【課題学習】 1編 生命現象と物質 1章 生物物質と細胞</p>	<p>・細胞がどのような成分で構成されているか理解する。 ・すべての細胞がもつ共通点が何か理解する。 ・真核細胞内の構造体について理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 課題学習プリント</p>	16相当
	<p>【課題学習】 2章 タンパク質の構造と酵素</p>	<p>・タンパク質の構造や性質について理解する。 ・酵素の働きや特徴について理解する。</p>		
	<p>【課題学習】 3章 細胞間の相互作用とタンパク質</p>	<p>・膜タンパク質の性質について理解する。 ・タンパク質によってどのように情報が伝えられるか理解する。 ・タンパク質と免疫の関係性を理解する。 ・細胞接着について理解する。</p>		
	<p>【課題学習】 4章 代謝とエネルギー</p>	<p>・代謝の反応がどのように進むか説明できる。 ・呼吸の解糖系とクエン酸回路について理解する。 ・発酵と呼吸の違いを説明できる。 ・光合成における一連の流れを理解する。</p>		
6月	<p>【web授業】 2編 遺伝子のはたらき 1章 DNAの構造と複製</p>	<p>・DNAの構造の特徴を説明できる。 ・DNAがどのように複製されるか理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 課題学習プリント</p>	web 16
	<p>【web授業】 2章 遺伝情報の発現</p>	<p>・セントラルドグマを理解する。 ・転写と翻訳の概要を理解する。 ・DNAの塩基配列とアミノ酸配列の関係について理解する。</p>		
	<p>【web授業】 3章 遺伝子の発現調整</p>	<p>・原核細胞の遺伝子発現の調節方法を理解する。 ・真核細胞の転写調節の特徴を理解する。</p>		
	<p>【web授業】 4章 バイオテクノロジー</p>	<p>・目的の遺伝子を増やす方法や導入する方法を理解する。 ・今後のバイオテクノロジーのあり方について考える。</p>		
	<p>【web授業】 3編 生殖と発生</p>	<p>・減数分裂のしくみを理解する。 ・遺伝子の連鎖と組み換えのしくみを理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p>	

7月	<p>1章 生物の有性生殖</p> <p>【対面授業】 2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ</p> <p>【対面授業】 4章 植物の発生</p>	<p>遺伝現象との発現の関係性を理解する。</p> <p>・ウニとカエルの発生について理解する。 ・細胞の分化のしくみを理解する。 ・再生医療のしくみを理解する。</p> <p>・被子植物の植生と胚発生の仕組みを理解する。</p>	<p>課題学習プリント</p> <p>【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【知識・理解】 ・授業プリント ・定期考査記述問題 ・定期考査</p>	<p>web 2 対面 8</p>
----	--	---	--	-------------------------------

8月	<p>夏季休業（始）</p> <p>夏季休業（終）</p> <p>【web授業】 4章 植物の発生</p>	<p>・被子植物の器官分化がどのように起こるか理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 課題学習プリント</p>	<p>web 4</p>
9月	<p>【以降は通常授業】 4編 生物の環境適応 1章 動物の刺激の受容と反応</p> <p>小テスト①</p> <p>2章 動物の行動</p> <p>3章 植物の環境応答</p>	<p>・興奮がどのように伝導、伝達しているか理解する。 ・刺激の受容と感覚がどのように行われ、処理されているか理解する。</p> <p>・植物の発生、動物の刺激の受容と反応(眼・耳・その他)について</p> <p>・動物の行動の種類を理解する。 ・動物の行動と神経回路の関係性を理解する。</p> <p>・植物がどのように環境に適応しているか理解する。 ・植物ホルモンの調節の仕組みを理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト</p>	<p>16</p>
10月	<p>5編 生体と環境 1章 生物の多様性と生態学</p> <p>小テスト②</p> <p>2章 個体群と生物群集</p>	<p>・生態学がどのような学問か理解する。</p> <p>・動物の刺激の受容と反応(神経系と筋肉)について</p> <p>・個体群と生物群集の関係性を理解する。 ・個体数の変動には、あらゆる生物に共通する仕組みと、種による違いがあることを理解する。 ・個体間の相互作用や主観の相互作用について理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト</p>	<p>16</p>
11月	<p>第2回考査</p> <p>テスト返却</p> <p>5編 生体と環境 3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ</p>	<p>・食物網と栄養段階について理解する。 ・生態系の中でエネルギーがどのように流れているか理解する。 ・生態系の中のエネルギーの流れをグラフや図から読み取る。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】</p>	<p>12</p>

	4章 生態系と生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性について、種・遺伝子・生態系の3つの視点から考える。 ・生物多様性が減少してしまう要因が何か考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	
1 2 月	4章 生態系と生物多様性 第3回考査 テスト返却 冬季休業（始）	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性について、種・遺伝子・生態系の3つの視点から考える。 ・生物多様性が減少してしまう要因が何か考える。 ・生物多様性の保全や復元のために行われている取り組みを知る。 ・社会の一員として、生物多様性を支えるためにできることがないか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト 	6
1 月	冬季休業（終） 6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷 2章 進化のしくみ 3章 生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が環境の変化にどのように対応し、多様化してきたか理解する。 ・人類がどのように進化してきたか理解する。 ・進化とは何か理解する。 ・生物の進化の道筋がどのように明らかにされてきたか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト 	8

都立大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科 理科・科目 物理 年間授業計画

教科：理科 科目：物理 単位数：4単位

対象学年組：第3学年A組～B組

教科担当者：(村上 貴昭)

使用教科書：(物理(実教出版))

使用教材：(実践アクセス総合物理(浜島書店)、フォトサイエンス物理図録(数研出版))

	指導内容	科目：物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	<p>【課題学習】 (物理基礎) 2章：エネルギー 2. 熱とエネルギー 3章：波 2. 音と振動 4章：電気 2. 電気の利用 5章：人間と物理 1. エネルギーとその利用</p>	昨年度の内容の復習	<p>課題学習 問題集の問題を解答して提出 【関心・意欲・態度】</p>	10相当
5月	<p>【課題学習】 (物理) 1章：さまざまな運動 1. 平面内の運動と剛体のつり合い ①運動の表し方</p>	授業再開以降の内容の予習	<p>課題学習 問題集の問題を解答して提出 【関心・意欲・態度】</p>	12相当
6月	<p>【課題学習】 (物理) 1章：さまざまな運動 1. 平面内の運動と剛体のつり合い ②落体の運動</p>	授業再開以降の内容の予習	<p>課題学習 問題集の問題を解答して提出 【関心・意欲・態度】</p>	4相当
	<p>【Web授業】 1章：さまざまな運動 1. 平面内の運動と剛体のつり合い</p>	<p>平面内を運動する物体の運動について理解する。</p>	<p>授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】</p>	Web6
	<p>【Web授業】 1. 平面内の運動と剛体のつり合い</p>	<p>平面内を運動する物体の運動について理解する。 斜方投射された物体の運動を理解する。</p>		3

7月	【通常授業】		授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査【知識・理解】	3
	第一回考査			1
	【Web授業】	大きさのある物体のつり合いを理解する。		2
8月		(夏季休業)	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査【知識・理解】	
	【Web授業】 1. 平面内の運動と剛体のつり合い	大きさのある物体のつり合いを理解する。		3

9月	【以降は通常授業】 2. 運動量の保存	運動量と力積の関係について理解する。 物体の衝突や分裂における運動量の保存を理解する。 衝突におけるはね返りについて理解する。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	6
	3. 円運動と単振動	円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。 単振動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。		6
	4. 万有引力	惑星の運動に関する法則を理解する。 万有引力の法則及び万有引力による物体の運動について理解する。		6
10月	5. 気体分子の運動	気体分子の運動と圧力の関係について理解する。 気体の内部エネルギーについて、気体の分子運動と関連付けて理解する。 気体の状態変化における熱、仕事及び内部エネルギーの関係を理解する。	実験プリントの提出 【関心・意欲・態度】 授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査【知識・理解】	8
	2章：波 1. 波の伝わり方	波の伝わり方とその表し方について理解する。 波の干渉と回折について理解する。		4
	2. 音	音の干渉と回折について理解する。 音のドップラー効果について理解する。		4
	3. 光	光の伝わり方について理解する。		2
11月	第二回考査		授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	1
	3. 光	光の伝わり方について理解する。 光の回折と干渉について理解する。		4
	3章：電気と磁気 1. 電荷と電場	電荷が相互に及ぼし合う力や電界の表し方を理解する。 電界と電位の関係を理解する。 コンデンサーの性質を理解する。		4
	2. 電流	電気回路について理解する。		4
12月	3. 磁場と電流	電流が作る磁界の様子を理解する。 電流が磁界から受ける力について理解する。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査【知識・理解】	4
	4. 電磁誘導と電磁波	電磁誘導と交流について、現象や法則を理解する。 電磁波について、性質とその利用を理解する。		4
	第三回考査			1

1 月	4章：原子 1. 電子と光	電子の電荷と質量について理解する。 電子や光の粒子性と波動性について理解する。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	4
	2. 原子と原子核	原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位の関係について理解する。 原子核の構成、原子核の崩壊及び核反応について理解する。 素粒子の存在について知る。		6

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名:化学 年間授業計画

教科:(理科) 科目:(化学) 対象:(第3学年A組～B組) 4単位

教科担当者:(佐藤 義幸 ㊞)

使用教科書:(新編 化学 (東京書籍))

使用教材:(ニューステップアップ化学(東京書籍)、サイエンスビュー化学総合資料(実教出版))

指導内容 【年間授業計画】	化学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	配当時数
4月 【課題学習】 5編:有機化合物 1章:有機化合物の特徴と構造 1節. 有機化合物の特徴 2章:炭化水素 1節. 飽和炭化水素 2節. 不飽和炭化水素 3節. 有機化合物の分析	有機化合物の定義と特徴を説明できる。 有機化合物の化学式を実験結果から求められる。 有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録ができる。 有機化合物と無機化合物を比較し、構成元素の種類は少ないにもかかわらず、化合物の種類はきわめて多いことを示す。 命名法に基づき炭化水素を命名できる。 脂肪族炭化水素の物理的・化学的性質を構造式と関連付けて説明できる。 炭化水素の構造異性体を区別できる。 有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録ができる。 アルカン、アルケン、アルキンの代表的なものを示し構造を理解させる。 成分元素の検出方法について理解させる。	◆課題学習 課題学習プリントの提出 【関心・意欲・態度】	16 相当
5月 【課題学習】 3章:アルコールと関連化合物 1節. アルコールとエーテル 2節. アルデヒドとケトン 3節. カルボン酸とエステル 4節. 油脂とセッケン	酸素を含む脂肪族化合物を命名法に基づいて命名できる。 アルコール、エーテル、アルデヒド、カルボン酸の反応性を構造と関連付けて説明できる。 銀鏡反応やヨードホルム反応から構造式を推測できる。 光学異性体について説明できる。 油脂、セッケン、界面活性剤の性質を説明できる。 けん化価とヨウ素価を計算により求められる。 アルコールの構造とエーテルの構造について理解させる。 カルボニル基、アルデヒド基について理解させ、ケトンの性質を示す。 カルボン酸の一般式を理解させる。 油脂の構成について理解させる。	◆課題学習 課題学習プリントの提出 【関心・意欲・態度】	16 相当
6月 【課題学習】 6編:高分子化合物 1章:天然高分子化合物 1節. 天然高分子化合物 2節. 単糖類・二糖類 3節. 多糖類 【Web授業】 4章:芳香族化合物 1節. 芳香族炭化水素 2節. 酸素を含む芳香族化合物 3節. 窒素を含む芳香族化合物 5章:有機化合物と人間生活 1節. 染料・医薬品 2節. 合成洗剤 3節. 食品	高分子化合物の種類について理解させる。 糖類の一般式を理解させる。 糖類の種類を理解させる。 【4,5月課題学習解説】 ベンゼン環を含む化合物について命名法に基づき命名できる。 ベンゼンの構造を理解し、反応性を説明できる。 フェノール類の反応を構造と関連付けて説明できる。 塩化鉄(III)による呈色反応により構造式を推定できる。 フェノールの製法について説明できる。 芳香族カルボン酸の反応性および医薬品としての利用について説明できる。 アニリンの製法および性質について説明できる。 ジアゾカップリングについて説明できる。 アゾ化合物の利用について説明できる。 芳香族アミンの構造と性質を理解させる。 有機化合物の界面活性剤、染料、医薬品としての利用について説明できる。 糖類の構造式および反応性を説明できる。 アミノ酸の構造および反応性を説明できる。	◆課題学習 課題学習プリントの提出 【関心・意欲・態度】 ◆Web授業 授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト(Webテスト) 【知識・理解】	12 相当 6 Web
【通常授業】 4～6月の課題学習の内容補填・解説	4～6月の内容の復習、テスト対策	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	3

			【知識・理解】	
7月	【Web授業】 6編：高分子化合物 1章：天然高分子化合物 4節. アミノ酸 5節. タンパク質 6節. 核酸	アミノ酸の一般式を理解させる。 タンパク質はアミノ酸が多数結合してできていることを理解させる。 核酸について理解させる。	◆Web授業 授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト (Webテスト) 【知識・理解】	Web 5
	【第一回考査】		定期考査 【知識・理解】	
8月	【通常授業】 6編：高分子化合物 2章：合成高分子化合物 1節. 合成高分子化合物 2節. 合成繊維 3節. プラスチック (合成樹脂) 4節. ゴム 3章：高分子化合物と人間生活 1節. 機能性高分子 2節. プラスチックの廃棄処理	ポリエチレンテレフタラートの縮合について理解させる。 ナイロンの合成反応について理解させる。 生ゴムの構造を理解させる。 高吸水性高分子、生分解性高分子、導電性高分子、感光性高分子について理解させる。 プラスチックのリサイクルについて触れ理解させる。	授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】	2
	夏季休業			
	【Web授業】 2編：化学反応とエネルギー 1章：化学反応と熱・光 1節. 反応熱と熱化学方程式 2節. ヘスの法則 3節. 光とエネルギー	化学反応と熱の出入りについて理解させる。 熱化学方程式の書き方と熱化学方程式の意味を理解させる。 ヘスの法則を理解させる。 化学発光について理解させる。	◆Web授業 授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト (Webテスト) 【知識・理解】	Web 3

9月	<p>【以降は通常授業】 2編：化学反応とエネルギー 2章：電池と電気分解 1節. 電池</p> <p>2節. 電気分解</p>	<p>電池の原理を酸化還元反応と関連付けて説明できる。 ボルタ電池およびダニエル電池の原理を金属のイオン化傾向と関連付けて説明できる。 マンガン電池及び鉛蓄電池の原理を説明できる。 鉛蓄電池に関する化学反応の量的関係を計算できる。 燃料電池及び実用電池の原理を説明できる。 金属のイオン化傾向を示し、酸化剤と還元剤の反応における電子の授受について理解させる。</p> <p>電気分解の原理を酸化還元反応と関連付けて説明できる。 電気分解における陰極の還元反応、陽極の酸化反応について理解させる。 イオン交換膜法、電気めっき、電解製錬、溶融塩電解について説明できる。 電気化学に関する観察・実験の基本操作や記録ができる。 電気分解の量的関係を計算できる。 流れた電流の量から生成物の量を計算できる。</p>	<p>授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】</p>	18
10月	<p>1編：物質の状態 1章：物質の状態 1節. 物質の三態 2節. 気体・液体間の状態変化</p> <p>2章：気体の性質 1節. 気体 2節. 気体の状態方程式</p> <p>3章：溶液の性質 1節. 溶解 2節. 希薄溶液の性質 3節. コロイド</p>	<p>物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解させる。また状態の変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力の関係について理解させる。</p> <p>ボイル・シャルルの法則を理解させる。 気体の状態方程式が導出でき、計算問題を解くことができる。</p> <p>溶液の仕組みを理解させる。また、溶解度を溶解平衡と関連付けて理解させる。沸点上昇度が、溶液の種類に無関係で、溶液の質量モル濃度に比例していることを理解させる。 コロイド、コロイド粒子、コロイド溶液について理解させる。</p>	<p>授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】</p>	16
11月	<p>1編：物質の状態 4章：化学結合と固体の構造 1節. 結晶の種類と性質 2節. 金属結晶の構造 3節. イオン結晶の構造 4節. 分子結晶の構造 5節. 共有結合の結晶と非晶質</p> <p>【第二回考査】</p>	<p>イオン結晶、分子結晶、共有結晶、金属結晶について理解させる。対心立方格子、面心立方格子、六方最密構造について理解させる。沸点上昇度が、溶液の種類に無関係で、溶液の質量モル濃度に比例していることを理解させる。</p>	<p>授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査 【知識・理解】</p>	12
12月	<p>3編：化学反応の速さと平衡 1章：化学結合の速さ 1節. 反応の速さ 2節. 反応速度を変える条件 3節. 反応のしくみ</p> <p>2章：化学平衡 1節. 可逆反応と化学平衡 2節. 平衡の移動</p> <p>3章：水溶液中の化学平衡 1節. 電離平衡 2節. 塩と化学平衡</p>	<p>反応速度は温度、濃度、触媒、表面積などの反応の条件などにもよっても変化することを理解させる。 反応速度式及びその比例定数である反応速度定数について理解させる。 活性化状態と活性化エネルギーについて理解させる。</p> <p>化学平衡の状態において、正反応の速度＝逆反応の速度が成り立つことを理解させる。 濃度の変化や圧力の変化によって平衡が変化することを理解させる。</p> <p>電離平衡について理解させる。 塩の水溶液の液性と加水分解における電離平衡を説明する。</p>	<p>授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】 定期考査 【知識・理解】</p>	16

	【第三回考査】			
1月	<p>4編：無機物質 1章：周期表と元素 1節：周期表と元素</p> <p>2章：非金属元素の単体と化合物 1節：水素と希ガス 2節：ハロゲンとその化合物 3節：酸素・硫黄とその化合物 4節：窒素・リンとその化合物 5節：炭素・ケイ素とその化合物</p> <p>3章：典型金属元素の単体と化合物 1節：アルカリ金属とその化合物 2節：2族元素とその化合物 3節：1, 2族以外の典型金属元素とその化合物</p> <p>4章：遷移元素の単体と化合物 1節：遷移元素とその化合物 2節：金属イオンの分離・確認</p> <p>5章：無機物質と人間生活 1節：金属の利用 2節：合金 3節：セラミックス</p>	<p>水素の性質について理解させる。希ガスは安定しており、化合物を作らず、単原子として存在していることを理解させる。 ハロゲンはとても反応しやすく原子番号順に酸化力が小さいことを理解させる。 酸素の性質と化合物について理解させる。 窒素、リンの性質について理解させる。 炭素・ケイ素の単体と化合物について理解させる。アルカリ金属の単体の性質、単体の保存法について理解させる。</p> <p>2族元素同士の反応の大きさについて理解させる。 アルミニウム、亜鉛、スズが両性元素であることを理解させる。</p> <p>遷移元素の例として銅、銀、鉄、クロム、マンガンをだし理解させる。 塩化物イオンとの反応を確認し金属イオンの分離を理解させる。</p> <p>金属の特性、主な金属の性質を理解させる。 代表的な合金を確認し理解させる。 セラミックスの意味を理解させる。</p>	<p>授業態度 【関心・意欲・態度】 発問に対する発言 【思考・判断・表現】 小テスト 【知識・理解】</p>	10

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 体育 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第3学年 A組、B組 男子・女子) 3単位

教科担当者:(増子良太:Ⓜ)(古川勝也:Ⓜ)

	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	【課題学習】 〈共通〉 体づくり運動	室内でできる運動に取り組み、運動習慣を身に付ける。	課題学習 【関心・意欲・態度】	4相当
5月	【課題学習】 〈共通〉 体づくり運動	室内でできる運動に取り組み、運動習慣を身に付ける。	課題学習 【関心・意欲・態度】	4相当
	【課題学習】 〈共通〉 体育理論	オリンピックの歴史について学び、オリンピックがどのように変化してきたか理解する。	課題学習 【関心・意欲・態度】	2相当
6月	【課題学習】 〈共通〉 体育理論	ドーピングについて考え、スポーツ倫理が求められる理由について説明できる。	課題学習 【関心・意欲・態度】	2相当
	【Web授業】 ガイダンス	体育の目的・意義について理解する。	観察	Web 1
	【Web授業】 体づくり運動	室内でできるストレッチングに取り組み、柔軟性を高める。	観察	Web 1
	【Web授業】 体づくり運動	室内でできる筋力トレーニングに取り組み、運動不足を解消する。	観察	Web 1
	【Web授業】 体育理論	運動やスポーツの活動中に起こるけがの原因について説明できる。 気象状況や自然環境の変化にともなって考えられる危険について例をあげることができる。	観察	Web 1
	【通常授業】 体づくり運動	スポーツテストに向けて自らの課題等を見つけ今後の体育、運動習慣にいか	観察	,

	す。		4
7 月	第1回 考査		

9月	【以降通常授業】 〈共通〉 水泳	水泳の技能を習得させるとともに、生涯を通じて水に親しめる資質を身につかせる。また、水の安全についても十分に理解させる。	観察、タイム測定	2
	〈男子〉 球技（ハンドボール）	球技（ハンドボール）を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト	10
	〈女子〉 球技（バドミントン）	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみも理解させる。	観察、実技テスト	10
	〈男子〉 球技（バレーボール）	球技（バレーボール）を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト	2
	〈女子〉 球技（テニス）	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみも理解させる。	観察、実技テスト	2
10月	〈男子〉 球技（バレーボール）	球技（バレーボール）を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト	6
	〈女子〉 球技（テニス）	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみも理解させる。	観察、実技テスト	6
	〈共通〉 ソフトボール	球技（ソフトボール）を通して個人の技能を高め、試合やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト	4
11月	〈共通〉 ソフトボール	球技（ソフトボール）を通して個人の技能を高め、試合やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト	4
	〈選択〉 タッチラグビー 体育理論	球技（タッチラグビー）を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。 豊かなスポーツライフを設計できるよう、各々が興味のある種目に取り組みさせる。	観察、実技テスト	8
	〈選択〉 フットサル 体育理論	球技（フットサル）を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。 豊かなスポーツライフを設計できるよう、各々が興味のある種目に取り組みさせる。	観察、実技テスト	8
12月	〈共通〉 バドミントン	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解させ、ラリーや攻防を楽しませる。また生涯スポーツとしての楽しみ方も理解させる。	観察、実技テスト	6

1 月	<p>〈共通〉 バドミントン 体育理論</p>	<p>ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解させ、ラリーや攻防を楽しませるむ。また生涯スポーツとしての楽しみ方も理解させる。</p>	<p>観察、実技テスト</p>	<p>6</p>

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 総合英語 年間授業計画

教科：（ 英語 ） 科目：（ 総合英語 ） 対象：（ 第 3 学年 B 組 ） 3単位

教科担当者：（野口◎）（猪原◎）

使用教科書：New ONE WORLD Communication II（教育出版）

使用教材：LEARNERS'英語総合演習四訂版（数研出版）

	指導内容 【年間授業計画】	科目総合英語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点	予定時間数
4月	<p>【課題学習】 ラーナーズ 受動態 I II 不定詞 I II</p>	<p>①受動態に関する基本的知識、用法を復習する。 ②不定詞に関する基本的知識、用法を復習する。</p>	課題取り組み、宿題【関心・意欲・態度】	8相当
5月	<p>【課題学習】 Lesson 5 How Climate Changes Are Affecting Us ラーナーズ 動名詞</p>	<p>①地球温暖化について、現在すでに表れている国内外の事例を読みながら、その原因や対策について考える。 ②[動名詞に関する基本的な知識と用法を復習する。]</p>	課題取り組み、宿題【関心・意欲・態度】	10相当
6月	<p>【課題学習】 【WEB授業】 Lesson 5 How Climate Changes Are Affecting Us ラーナーズ 復習</p>	<p>①地球温暖化について、現在すでに表れている国内外の事例を読みながら、その原因や対策について考える。 ②[seem+to不定詞 / to不定詞の完了形 / It+seems(appears)+that節 / 過去完了形]を理解する。 ③動名詞に関する基本的知識、用法を復習する。</p>	課題取り組み、宿題、WEB授業の取り組み【関心・意欲・態度】	web4 4相当

7月	<p>【登校週】 【WEB授業】 Lesson 6 English Textbooks from Around the World</p>	<p>①フランス、韓国、ガーナなど、世界の高校生が使っている英語の教科書に掲載された英文を読み、その文化にふれる。 ②[倒置構文 / 強調構文 / 動名詞の受け身 / 助動詞+完了形]を理解する。</p>	<p>授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】</p>	<p>web4 4相当</p>
----	--	---	---	----------------------

9月	<p>【以降通常授業】 Lesson 7 The Hayabusa Project</p>	<p>① 7年かけて小惑星の土のサンプルを地球にもたらした宇宙探査船「はやぶさ」の軌跡と、困難に立ち向かった不屈のチャレンジ精神の源泉を探る。 ② [関係代名詞の非制限用法 / 関係代名詞whose / 前置詞+関係代名詞 / 関係副詞where, whenの非制限用法]を理解する。</p>	<p>授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】</p>	10
10月	<p>Lesson 8 The Origin of Santa Claus</p>	<p>① 様々な変遷を経てもなお、変わらない子どもたちのサンタクロースのイメージを理解する。 ② [仮定法過去の復習 / 仮定法過去完了 / さまざまな譲歩の表現 / 同格を表すthat]を理解する。</p>	<p>授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】</p>	9
11月	<p>Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic</p>	<p>① タイタニック号の歴史について学ぶ。 ② 分詞構文、付帯条件について基本的な知識と用法を復習する。</p>	<p>授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】</p>	7
12月	<p>Lesson 10 Japanese Agriculture Is Changing</p>	<p>① 日本の農業の現状について、その品質や安全性へのこだわりなどを通して紹介する。 ② [進行形の受け身 / whichの非制限用法 / 未来進行形 / 未来完了形]を理解する。</p>	<p>授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】</p>	6

1 月	復習	復習問題	授業中の取り組み、宿題 【関心・意欲・態度】	5

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：水産 科目：課題研究 年間授業計画

教科：水産 科目：課題研究 単位数：3単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(佐藤真郷 ㊟、平塚正彦 ㊟) (磯貝大介 ㊟、倉澤 聡 ㊟) (今西弘憲 ㊟、伊藤陽介 ㊟)

使用教科書：()

使用教材：()

	指導内容	科目「課題研究」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	今後取り組む課題について考えさせる。	学校が再開したときに取り組む課題を考える。		
5月	今後取り組む課題について考えさせる。	学校が再開したときに取り組む課題を考える。		
6月	今後取り組む課題について考えさせる。	学校が再開したときに取り組む課題を考える。		
		航海系		

7月	<p>航海系 ガイダンス 新大島丸を理解する。</p> <p>資源増殖系 ガイダンス・課題決定・研究活動</p> <p>マリンスポーツ系 ガイダンス・シーカヤック</p>	<p>新大島丸を理解し、全校生徒に紹介する。就航式に紹介の映像を流せるように準備する。</p> <p>資源増殖系 今後の予定の説明し、年間の動きを理解する。各人（各グループ）の興味関心に沿った課題を設定させる。課題が設定できた者は、予定に沿って活動を開始させる。</p> <p>マリンスポーツ系 今年度の予定説明。シーカヤックの歴史、ギア及び各部名称を理解させる。安全第一でカヌー技術の特徴と構造を理解させる。パドルワーク・ボディワークを理解させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による</p> <p>「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する</p>	3
8月	<p>航海系 大島丸に訪船し、大島丸の理解を深める。紹介用の映像の撮影に向け準備する。</p>	<p>航海系 大島丸の紹介をどのように進めるか検討させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による</p> <p>「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する</p>	14

9月	航海系 新大島丸の理解と、大島沿岸の航海 資源増殖系 課題決定・研究活動 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士	航海系 大島丸紹介の動画を撮影する。 今後の予定を説明し、年間の動きを理解する。教科「航海計器」の進行と関連して、最終的に実習艇「みはら」による東京湾航海に向けての流れを理解させる。 資源増殖系 今後の予定の説明し、年間の動きを理解する。各人（各グループ）の興味関心に沿った課題を設定させる。課題が設定できた者は、予定に沿って活動を開始させる。 マリンスポーツ系 小型船舶の船長の心得及び遵守事項、交通の方法、運航（操縦一般）について理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による 「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する	12
10月	航海系 大島の沿岸航海・東京湾航海 資源増殖系 研究活動・論文作成・パワーポイント作成 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士及びウインドサーフィン	航海系 大島の沿岸航海について説明し、航路を策定する。東京湾の航海を策定し、問題点を考える。 資源増殖系 研究活動を進めると共に、論文・パワーポイントの作成も進めさせる。 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士：発行前の準備及び点検項目を理解させる。操縦一般について水上オートバイの特性を理解させ、基本操縦及び応用操縦ができるようにする。 ウインドサーフィン：各部名称及びセイリング理論を理解させる。また、基本的なセイリング技術ができるようにする。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による 「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する	15
11月	航海系 東京湾航海の準備 資源増殖系 研究活動・論文作成・パワーポイント作成 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士及びウインドサーフィン	航海系 東京湾航海の航路下調べを通じて航海の成就を目指す。 資源増殖系 研究活動を進めると共に、論文・パワーポイントの作成も進めさせる。 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士：発行前の準備及び点検項目を理解させる。操縦一般について水上オートバイの特性を理解させ、基本操縦及び応用操縦ができるようにする。 ウインドサーフィン：各部名称及びセイリング理論を理解させる。また、基本的なセイリング技術ができるようにする。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による 「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する	9
12月	航海系 東京湾航海の準備・東京湾航海実習 資源増殖系 研究活動・論文作成・パワーポイント作成 授業内発表会 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士	航海系 東京湾航海の航路下調べを通じて航海の成就を目指す。 資源増殖系 研究活動を進めると共に、論文・パワーポイントの作成も進めさせる。各人5～10分目安に授業内で発表会を行う。 マリンスポーツ系 特殊小型船舶操縦士：発行前の準備及び点検項目を理解させる。操縦一般について水上オートバイの特性を理解させ、基本操縦及び応用操縦ができるようにする。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による 「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する	6

	浮遊性土壌肥料成分 及びウインドサーフィン	ウインドサーフィン：各部名称及びセイリング理論を理解させる。また、基本的なセイリング技術ができるようにする。	素心、モチ、大気の状況も 評価する	
1 月	航海系 東京湾航海のまとめ 資源増殖系 研究活動・論文作成・パワーポイント作成 授業内発表会 マリンスポーツ系 編網	航海系 東京湾航海のまとめをし、次年度に向けての資料作成をする。 資源増殖系 研究活動を進めると共に、論文・パワーポイントの作成も進めさせる。各人5～11分目安に授業内で発表会を行う。 マリンスポーツ系 編網技術及びスプライスの技術を使ってビン玉製作を行う。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 実習中の課題の克服状況、レポートの提出による 「思考・判断」 授業中の課題の取組や調査や実験の結果についての考察力、学科や実技試験等を評価する	6

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 海洋環境 年間授業計画

教科：(水産) 科目：(海洋環境) 対象：(第3学年B組) 単位数：2 単位

教科担当者：A組：伊藤 陽介 ㊟

使用教科書：海文堂

「海洋環境」

	指導内容 【年間授業計画】	科目海洋環境の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月			課題の提出 【関心・意欲・態度】	6時間相当
	(課題学習) 領海	領海の定義等について、国連海洋法条約に基づいて理解する。		
5月			課題の提出【関心・意欲・態度】	6時間相当
	(課題学習) 海洋に関連する条約	海洋を保全するための条約について理解する。		
6月			課題の提出【関心・意欲・態度】	3
	(WEB) 基線、内水、領海、島	基線・内水・領海・島の定義について理解する。		
	(WEB) 接続水域 排他的経済	接続水域、排他的経済水域について理解する。	課題の提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	1

7 月	水産小論文、プレゼンテーション 水域、公海		定期考査【知識・技能】		
	(WEB) 公海	公海について理解する。			1
	通常授業 大陸棚	大陸棚について理解する。			1
	第一回考査				1
	(WEB) 海洋ごみ	海洋ごみの原因や捉え方について理解する。		1	
8 月	通常授業 地球温暖化、エルニーニョ現象	地球環境の変動について最新のデータを基に自分の考えを持ち表現する。 データを正確に読み取る科学的な思考力を身につける。	授業内での発言などで意欲・態度等を評価	6	

9月	【以降通常授業】 水産基本計画	水産基本計画の内容を理解し、日本の抱える水産業の問題について考える。	課題の提出【関心・意欲・態度】	2
	ゴーストフィッシング	ゴーストフィッシングの原理を理解し、対策について考える。		2
	船舶の排気ガス	船舶の排気ガスについて理解し、原因の究明と対策について考える。		2
	バラスト水	バラスト水が運ぶ外来生物について理解し、対策を考える。		2
10月	船体付着生物	船体付着生物について理解し、対策について考える。	課題の提出【関心・意欲・態度】	2
	化学物質による汚染	公害の例を基に化学物質による汚染について考える。		2
	環境基本法	環境基本法ができた背景を考え、内容について考える。		2
	環境基準	どのような基準で環境保全を考えるべきなのか科学的に考える。		2
11月	環境影響評価法 第二回考査	環境に対する適切な評価について考える。	課題の提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	環境基本法	環境基本法について理解する。		2
	水産基本法	水産基本法について理解する。		2
	遊漁と環境保全	遊漁と環境保全について対策を考える。		2
12月	プレジャーボートと環境保全	放置艇を始めとしたプレジャーボートが抱える問題について考える。	課題の提出【関心・意欲・態度】 定期考査【知識・理解】	2
	海洋調査に必要な知識	波の定義や汀線などの専門用語を理解し、表現できる。		2
	第三回考査			1

1 月	漁港のエコ化	環境に優しい漁港について考える。	課題の提出【関心・意欲・態度】	2
	再生可能エネルギー	環境に優しいエネルギーについて考える。		2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：水産 科目：海洋生物 年間授業計画

教科：水産 科目：海洋生物 単位数：2単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(B組：磯貝大介)

使用教科書：(海洋生物)

使用教材：()

	指導内容	科目海洋生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	課題学習 海洋生物に関するレポート作成	海洋生物を学んでいくに当たって、まず自身で興味のある海洋生物について詳しく調べ、レポートとして提出させる。	意欲・関心・レポートの内容	4相当
5月	課題学習 生物の学名について	学名とは何か、どのような役割があるのか、どの様に付けられているのか等、学名についての基礎を学ぶ。	課題プリントの提出 (意欲・関心)	4相当
6月	課題学習 生物の分類について WEB 生物の学名と分類について	生物がどのように分類されているのか理解する 学名と分類について改めて授業を行い、共通の理解を得る。	課題プリントの提出 (意欲・関心) 意欲・関心・態度	課題 4相当 WEB 3

7 月	WEB 主な海洋生物（海綿動物） 通常授業 主な海洋生物（海綿動物） 第1回考査	海綿動物の生態や特徴、利用方法について理解する。	意欲・関心・態度 定期考査の実施	WEB 3 通常 2
--------	--	--------------------------	---------------------	-------------------------

9月	<p>【以降通常授業】 主な海洋生物（刺胞動物）（軟体動物）</p>	<p>刺胞動物・軟体動物の生態や特徴、利用方法について理解する。</p>	<p>意欲・関心・態度</p>	<p>8</p>
10月	<p>主な海洋生物（軟体動物）（環形動物）</p>	<p>軟体動物・環形動物の生態や特徴、利用方法について理解する。</p>	<p>意欲・関心・態度</p>	<p>8</p>
11月	<p>主な海洋生物（節足動物） 第2回考査</p>	<p>節足動物の生態や特徴、利用方法について理解する。</p>	<p>意欲・関心・態度 定期考査の実施</p>	<p>7</p>
12月	<p>主な海洋生物（脊椎動物）（海洋植物） 第3回考査</p>	<p>脊椎動物・魁皇植物の生態や特徴、利用方法について理解する。</p>	<p>意欲・関心・態度 定期考査の実施</p>	<p>5</p>

1 月	主な海洋生物（海洋植物）	海洋植物の生態や特徴、利用方法について理解する。	意欲・関心・態度	4

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：水産 科目：資源増殖 年間授業計画

教科：水産 科目：資源増殖 単位数：4単位

対象学年組：第3学年 選択者

教科担当者：(北原 あゆみ・倉澤 聡)

使用教科書：(海文堂 資源増殖)

使用教材：()

	指導内容	科目資源増殖の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 生産物の安全管理と環境対策	水産物の特性と流通の現状 食品トレーサビリティシステム 上記2点について十分に理解させる	提出物を総合的に判断	1 1 相当
	【課題学習】 資源増殖とは	授業の進め方や評価方法、その他注意事項について理解させる 資源増殖の必要性を十分に理解させる。		
5月	【課題学習】 生産物の安全管理と環境対策	水産物の特性と流通の現状 食品トレーサビリティシステム 上記2点について十分に理解させる	提出物を総合的に判断	1 1 相当
	【課題学習】 増養殖技術	増殖・養殖・飼育に必要な基礎知識（特に専門用語の理解）を身に付けさせる		
6月	【Web授業】 生産物の安全管理と環境対策	水産物の特性と流通の現状 食品トレーサビリティシステム 上記2点について十分に理解させる	質疑応答・提出物を総合的に判断	13
	【Web授業】 飼料・餌料	養殖飼料の現状・特徴 飼料・餌料にはどんな特徴があるのか 現在どんな飼料があるのか かつてはどんな飼料があったのか		

7月	<p>【Web授業】 生産物の安全管理と環境対策</p>	<p>養殖漁場の環境対策として「自家汚染」と「漁場環境の完全」について学ぶ</p>	<p>質疑応答・定期考査・提出物を総合的に判断</p>	4相当
	<p>【Web授業】 魚介類の摂餌・消化・吸収</p>	<p>魚の摂餌量・餌料効果・消化と吸収・各栄養素の消化吸収率（消化率）について特徴や注意すべき点を理解させる</p>	<p>食性や体長によって摂餌量は違うということ・栄養素によって消化率も変わるということを理解させる こちらの発問に対して積極的に答えられているか</p>	
8月	<p>【Web授業】 生産物の安全管理と環境対策</p>	<p>養殖漁場の環境対策として「自家汚染」と「漁場環境の完全」について学ぶ</p>	<p>質疑応答・定期考査・提出物を総合的に判断</p>	4相当
	<p>【Web授業】 魚介類の摂餌・消化・吸収</p>	<p>魚の摂餌量・餌料効果・消化と吸収・各栄養素の消化吸収率（消化率）について特徴や注意すべき点を理解させる</p>	<p>食性や体長によって摂餌量は違うということ・栄養素によって消化率も変わるということを理解させる こちらの発問に対して積極的に答えられているか</p>	

9月	【以降は通常授業】 生産物の安全管理と環境対策	養殖漁場の環境対策として「自家汚染」と「漁場環境の完全」について学ぶ	質疑応答・提出物を総合的に判断	15
	【以降は通常授業】 魚類の栄養要求	魚類にとってタンパク質・炭水化物・脂質・ビタミン・無機質（ミネラル）の必要性・重要性について理解させる	必要な栄養素が欠乏してしまった場合魚類にどのような影響が出てくるのか理解できているか こちらの発問に対して積極的に答えられているか	
10月	水産育種とバイオテクノロジー	育種（導入育種、選抜育種）について十分に理解させる 最新の研究成果を紹介し理解を深めさせる	質疑応答・定期考査・提出物を総合的に判断	13
	初期餌料	初期餌料の重要性 初期餌料に必要な条件・種類 初期餌料の培養方法 実際に初期餌料のアルテミアやワムシを観察させる	稚魚にとって初期餌料がどれほど重要なものか理解できているか こちらの発問に対して積極的に答えられているか	
11月	水産育種とバイオテクノロジー	育種（導入育種、選抜育種）について十分に理解させる 最新の研究成果を紹介し理解を深めさせる	質疑応答・定期考査・提出物を総合的に判断	13
	病気と病害対策	病気の種類・発病・感染について 魚類が感染する病気にはどんなものがあるのか 発病したときどのような症状が出るのか	魚類の病気にはどんな種類があつてどのような症状が出るのか理解できているか こちらの発問に対して積極的に答えられているか	
12月	水産育種とバイオテクノロジー	染色体操作 バイオテクノロジー 上記2点について十分に理解させる 最新の研究成果を紹介し理解を深めさせる	質疑応答・定期考査・提出物を総合的に判断	11
			実際に見たり写真から何の病気に感染しているのかわかるようになっているか	

	病気と病害対策	病気の診断と対策 どのように診断していくのか 病害対策	病気が広がらないようにど のような対策をしたらよい か理解できているか こちらの発問に対して積極 的に答えられているか	
1 月	水産育種とバイオテク ノロジー	「遺伝子導入」「精子の凍結保存」「細胞操作」等、育種とバイオテクノロジーの 展望について学ぶ	質疑応答・定期考査・提出 物を を総合的に判断	8
	主な養殖技術	生徒にとって身近な海洋生物の養殖技術について実例をあげて理解させていく	魚種によって養殖技術が違 うことを理解できているか こちらの発問に対して積極 的に答えられているか	

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科 水産科目 船舶運用 年間授業計画

教科：水産 科目：船舶運用 単位数：2単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(B組：佐藤 真郷)

使用教科書：(船舶運用 (海文堂出版))

使用教材：(航海学習テキスト (自作プリント)、自作プレゼンテーションスライド))

	指導内容	科目船舶運用の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 船舶の概要 船舶の意義 漁船の意義	船舶の役割 船舶の種類 代表的な船舶 漁船の沿革 漁船の定義 漁業の従業制限 について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	4相当
5月	【課題学習】 船舶の概要	船の種類と船体構造について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。	8相当
6月	【WEB授業】 安全・衛生設備	安全・衛生設備について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。	7相当 WEB 2
	【WEB授業】 【通常授業】 安全・衛生設備	安全・衛生設備について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。	

7 月			授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	2 WEB 2
--------	--	--	--	-------------------

9月	【通常授業】 船舶の設備	船舶の設備、係船・荷役設備について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	8
10月	【通常授業】 船舶の設備 操船	船舶の設備、係船・荷役設備について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。 操船に与える影響とその作用について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	10
11月	【通常授業】 操船	操船に与える影響とその作用について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	8
12月	【通常授業】 操船 船内の安全と衛生 船舶、船員、海洋関係法規	操船に与える影響とその作用について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。 船内の安全と衛生について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。 船舶、船員、海洋関係法規について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	8

1 月	【通常授業】 船舶、船員、海洋関係 法規	船舶、船員、海洋関係法規について理解を深め、海技試験（運用）に対応する力を付けさせる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	4

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科 水産科目 航海・計器 年間授業計画

教科：水産 科目：航海・計器 単位数：4単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(B組：佐藤真郷)

使用教科書：(航海・計器 (海文堂出版))

使用教材：(図説 海上衝突予防法、図説 港則法、航海学習テキスト (自作プリント))

	指導内容	科目航海・計器の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 第1章 総則 第2章 航法	第1条「目的」 第2条「適用船舶」 第3条「定義」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。 第4条「適用船舶」 第5条「見張り」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。	8相当
5月	【課題学習】 第2章 航法	第6条「安全な速力」 第7条「衝突のおそれ」 第8条「衝突を避けるための動作」 第9条「狭い水道等」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。	12相当
6月	【WEB授業】 第2章 航法	第13条「追越し船」 第14条「行会い船」 第15条「横切り船」 第16条「避航船」 第17条「保持船」 第18条「各種船舶間の航法」 第19条「視界制限状態における船舶の航法」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。 発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	12相当 WEB 5
	【WEB授業】 【通常授業】 第3章 灯火及び形象物	第20条「通則」 第21条「定義」 第22条「灯火の視認距離」 第23条「航行中の動力船」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。	海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。	

7 月			発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。 授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。	2 WEB 2
--------	--	--	---	-------------------

9月	<p>【通常授業】 第3章 灯火及び形象物</p> <p>第4章 音響信号及び発行信号</p> <p>港則法 第1章 総則</p>	<p>第26条「漁ろうに従事している船舶」 第27条「運転不自由船及び操縦性能制限船」 第28条「喫水制限船」 第29条「水先船」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p> <p>第32条「定義」 第33条「音響信号設備」 第34条「操船信号」 第35条「視界制限状態における音響信号」 第36条「注意喚起信号」 第37条「遭難信号」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p> <p>第1条「法律の目的」 第2条「港及びその区域」 第3条「定義」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p>	<p>海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	17
10月	<p>【通常授業】 第2章 入出港及び停泊</p> <p>第3章 航路及び航法</p>	<p>第4条「入出港の届出」 第7条「移動の制限」 第10条「移動命令」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p> <p>第12条～第19条「航路」 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p>	<p>海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	18
11月	<p>【通常授業】 海上交通安全法 第1章 総則</p> <p>第2章 交通方法 第1節 航路における一般的な航法</p>	<p>第1条「目的及び適用海域」 第2条「定義」</p> <p>第3条～第10条 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p>	<p>海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	15
12月	<p>【通常授業】 第2章 交通方法 第2節 航路ごとの航法</p>	<p>第11条～第15条 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p>	<p>海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	16

1 月	<p>【通常授業】 第2章 交通方法 第2節 航路ごとの航法</p>	<p>第16条～第21条 について理解を深め、海技試験（法規）に対応する力を付させる。</p>	<p>海技士の取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>発問に対し、その回答を考え、他人の意見に耳を傾ける姿勢を評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種演習・定期考査などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	12

東京都立大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科水産 科目ダイビング 年間授業計画

教科：水産、科目：ダイビング 単位数：2単位

対象学年組：第3学年B組 選択者

教科担当者：（今西 弘憲）

使用教科書：（潜水士テキスト）

使用教材：（）

	指導内容	科目ダイビングの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	<p>【課題学習】 第4編 関係法令 第1章 高気圧作業安全衛生規則（抄） 第2章 労働安全衛生法（抄） 第3章 労働安全衛生規則（抄） 第4章 その他関連する法令</p>	<p>潜水業務に関わる法令の概要を理解させる</p> <p>労働安全衛生法についての概要を理解させる</p> <p>労働安全衛生規則について理解させる。</p>	プリント作成・提出、練習問題等にて評価する。	6相当
5月	<p>【課題学習】 第1章潜水業務の概要 潜水業務の定義 潜水業務の歴史・現状 第2章 潜水の物理学</p>	<p>潜水業務の定義を理解させるとともに、潜水業務の範囲について考えさせる。</p> <p>水中呼吸器の誕生及び発展、自給気式潜水器の歴史、わが国の潜水業務の歴史について理解させる。潜水業務の種類と内容について理解させる。</p> <p>水・大気の圧力、潜水業務で使用するゲージ圧力、絶対圧力等について理解させるとともに、単位換算について理解する。</p>	プリント作成・提出、練習問題等にて評価する。	6相当
6月	<p>【課題学習】 第2章 潜水の物理学 第3章 潜水の種類</p>	<p>気体の法則、気体の特性、浮力、気体の性質について理解させる。</p> <p>・水中での光・音・熱の伝播、について理解させる。 ・呼吸ガス・潜水方式・減圧方法による分類を理解させる。</p>	プリント作成・提出、練習問題等にて評価する。	6相当

7 月	【Web授業】 第3章 潜水の種類 第4章 スクーバ（自給気式潜水器）潜水	潜水器を潜水者、呼吸器との関係などから大気圧潜水と環境圧潜水に大別し、各潜水の特徴を理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による	W e b 4
		自給器式水中呼吸器の設備・器具について理解する。またその取扱い、点検整備について理解する。	「技能・表現」 後日提出させるワークシートの内容評価	
			「思考・判断」 Web授業中の質疑応答等による	
			「知識・理解」 Web授業中におこなう練習問題による	

9月	【以降通常授業】 第5章 全面マスク式潜水器	・必要な設備、器具、取り扱い、点検整備について理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 授業中に配布するワークシートの作成やレポートの提出による 「思考・判断」 授業中の質疑応答等による 「知識・理解」 授業中におこなう練習問題による	9
	第6章 ヘルメット式潜水器	・必要な設備、器具、取り扱い、点検整備について理解させる。		
	第7章 混合ガス潜水方式	・概要、潜水方法、設備・器材、使用する混合ガス、酸素減圧等について理解させる。		
	第8章 飽和潜水	・概要、潜水方法、特徴について理解させる。		
	第9章 潜水業務の計画と管理	・潜水作業計画の立案、業務の管理、潜水機器・物品及び作業の管理について理解させる。		
10月	第10章 潜水業務の危険性および事故発生時の措置	・潜水業務に伴う諸々の事故の危険性について理解させると共に、潜水事故の予防等について理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 授業中に配布するワークシートの作成やレポートの提出による 「思考・判断」 授業中の質疑応答等による 「知識・理解」 授業中におこなう練習問題による	8
	第2編 送気、潜降及び浮上 第1章 潜水業務に必要な吸気および送気	空気及び混合ガス潜水における給気・送気について理解させる。		
	第2章 潜降及び浮上	自給器式及び送気式潜水器での潜降・浮上手順について理解させる。		
	第3章 適正な浮上（減圧）速度の制定	新減圧表の概念・用語及び理論を理解させる。		
	第4章 個別の潜水状況への対応 第5章 減圧表の位置づけ	高所潜水・酸素減圧等の個々のケースについて理解させる。 個別に作成した減圧表を使用する場合の留意点および減圧表の限界について理解させる。		
11月	第3編 高気圧障害 第1章 人のからだ	人の体について、循環器系・呼吸器系・神経系を中心にそれらの働きを理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 授業中に配布するワークシートの作成やレポートの提出による 「思考・判断」 授業中の質疑応答等による 「知識・理解」 授業中におこなう練習問題による	6
	第2回考査			
	第2章 潜水による障害とその対策	・圧力が関係する疾患、呼吸ガスに関係する疾患について理解させる。		
	第2章 潜水による障害とその対策	・温度の影響、危険生物 について理解させる。		
12月	第3章 潜水者の健康管理	・健康診断、健康管理の重要性について理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 授業中に配布するワークシートの作成やレポートの提出による 「思考・判断」 授業中の質疑応答等による 「知識・理解」 授業中におこなう練習問題や、定期考査による	4
	第4章 潜水業務に必要な救急処置	・救助、緊急浮上後の処置、再圧治療について理解させる。		

1 月			「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による	3
	潜水士試験対策	国家試験に向けて問題演習	「技能・表現」 授業中に配布する練習問題の提出による	
	潜水士試験対策	国家試験に向けて問題演習	「思考・判断」 授業中の質疑応答等による	
			「知識・理解」 授業中におこなう練習問題による	

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科 水産 科目 航海・計器 年間授業計画

教科：水産 科目：航海・計器 単位数：2単位

対象学年組：第3学年B組 選択者

教科担当者：(橋本 昇 (印))

使用教科書：(航海・計器 (海文堂))

使用教材：(図説 海上衝突予防法、図説 港則法、図説 海上交通安全法)

	指導内容	科目 航海・計器の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	<p>【課題学習】</p> <p>○海上交通関係法規 (航海3法)</p> <p>海上衝突予防法 (以下予防法)</p> <p>海上交通安全法 (以下安全法)</p> <p>港則法</p> <p>・各法律 第1 総則 第1条 (目的)</p> <p>○予防法</p> <p>・第2 航法</p> <p>1 あらゆる視界の状態における船舶の航法</p> <p>2 互いに視野の内にある船舶の航法</p> <p>○海難発生数グラフの分析</p>	<p>1. 海上交通の過密化や複雑化を踏まえ、航海3法 (予防法・安全法・港則法) 等関係法規に規定されている内容を正しく理解する。また、船舶の安全航行と関連付けて考えることができるようにする。</p> <p>2. 海上交通関係法規を自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に考え、取り組むことができるようにする。</p> <p>3. 海洋や水産に関心を持ち、特に小型船舶操縦士資格取得等に主体的、意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>上記3つを前提として、以下を指導目標とする。</p> <p>○第1 総則 予防法・安全法・港則法</p> <p>・航海3法の関係について理解する</p> <p>・各法律の共通する「目的」を正しく理解し、各法律の基本的概要を理解する。</p> <p>・海上交通の安全について考えることができる。</p> <p>○海難審判所で審判された実際の海難事例を通し、予防法の「航法」について、適用される条文を考え、「航法」について理解する。</p> <p>・上記課題を通し、自分の考えをまとめ、発表する (課題提出をもって替える)</p> <p>○海難発生数等のグラフの分析力及び考察力を身に付ける。</p>	<p>・課題に対する取り組み・課題提出状況 [関心・意欲・態度]</p> <p>・自分なりの解答を表現できているか、また、グラフの分析等ができるか [思考・判断・表現]</p> <p>・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか [知識・理解]</p>	4相当
5月	<p>【課題学習】</p> <p>○予防法</p> <p>・第2 航法</p> <p>1 あらゆる視界の状態における船舶の航法</p> <p>2 互いに視野の内にある船舶の航法</p> <p>○海難発生数グラフの分析</p>	<p>○海難審判所で審判された実際の海難事例を通し、予防法の「航法」について、適用される条文を考え、「航法」について理解する。</p> <p>・上記課題を通し、自分の考えをまとめ、発表する (課題提出をもって替える)</p> <p>・海難発生数等のグラフの分析力及び考察力を身に付ける。</p> <p>・海上交通の安全について考えることができる。</p>	<p>・課題に対する取り組み・課題提出状況 [関心・意欲・態度]</p> <p>・自分なりの解答を表現できているか、また、グラフの分析等ができるか [思考・判断・表現]</p> <p>・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか [知識・理解]</p>	4相当
6月	<p>【Web. 授業】</p> <p>○予防法</p> <p>・第2 航法</p> <p>1 あらゆる視界の状態における船舶の航法</p> <p>2 互いに視野の内にある船舶の航法</p>	<p>○海難審判所で審判された実際の海難事例を通し、予防法の「航法」について、適用される条文を考え、「航法」について理解する。</p> <p>・課題についての各自の考えや根拠の発表と予防法条文の内容について、補充・解説し、法律の正しい知識を身に付ける。</p> <p>・海上交通の安全について考えることができる。</p> <p>○予防法全体の構成について補充・解説</p> <p>・第5条～第19条について理解する</p>	<p>・課題に対する取り組み [関心・意欲・態度]</p> <p>・自分なりの解答を表現できているか。 [思考・判断・表現]</p> <p>・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか [知識・理解]</p>	Web 2

<p>7 月</p>	<p>【Web. 授業】 ○予防法 ・第2 航法 1 あらゆる視界の状態における船舶の航法 2 互いに視野の内にある船舶の航法 ○海難発生数グラフの分析</p> <p>【通常授業】 ○予防法 ・第2 航法 1 あらゆる視界の状態における船舶の航法 2 互いに視野の内にある船舶の航法</p> <p>第1回考査</p>	<p>○予防法全体の構成について補充・解説・総復習 ・第5条～第19条について理解する</p> <p>○海難審判所で審判された実際の海難事例を通し、予防法の「航法」について、適用される条文を考え、「航法」について理解する。 ・課題についての各自の考えや根拠の発表と予防法条文の内容について、補充・解説し、法律の正しい知識を身に付ける。 ・海難発生数等のグラフの分析力及び考察力を身に付ける。 ・海上交通の安全について考えることができる。</p>	<p>・課題に対する取り組み [関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。また、グラフの分析等ができるか。考査問題への解答内容[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解]</p>	<p>2 Web, 3</p>
<p>8 月</p>	<p>【Web. 授業】 ○予防法の構成（復習） ・第1 総則 ・第2 航法 1 あらゆる視界の状態における船舶の航法 2 互いに視野の内にある船舶の航法 3 視界制限状態における船舶間の航法</p>	<p>○予防法全体の構成について補充・解説・総復習 ・第5条～第19条について理解する ・海上交通の安全について考えることができる。</p>	<p>・設問に対する回答等取り組み[関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解]</p>	<p>Web. 3</p>

9月	<p>【以降通常授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○予防法の構成 <ul style="list-style-type: none"> ・第3 灯火及び形象物 ○乗船実習について <ul style="list-style-type: none"> ・航海当直の業務 ・操舵号令 ・位置入れ ・航海日誌の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○予防法全体の構成について <ul style="list-style-type: none"> ・第20条～第31条について、理解する ・海上交通の安全について考えることができる。 ○乗船実習に向けた事前指導 <ul style="list-style-type: none"> ・航海当直中の業務 ①見張り(予防法) ②位置入れ ③操舵 ④航海日誌の記入について、理解し、実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問に対する回答等取り組み[関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解] ・小テスト 	8
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○予防法 <ul style="list-style-type: none"> ・第4 音響信号及び発光信号 ・第5 補則 ○乗船実習終了後の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ○予防法全体の構成について <ul style="list-style-type: none"> ・第32条～第37条について、理解する ・第38条・第39条について理解する ・海上交通の安全について考えることができる。 ○乗船実習後の報告書作成 <ul style="list-style-type: none"> ・航海当直中の業務 ①見張り(予防法) ②位置入れ ③操舵 ④航海日誌の記入について、実施してきたものについて整理、レポートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問に対する回答等取り組み[関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解] ・小テスト 	8
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○港則法 <ul style="list-style-type: none"> ・第1 総則 ・第2 出入港及び停泊 ・第3 航路及び航法 *第2回考査 	<ul style="list-style-type: none"> ○港則法について <ul style="list-style-type: none"> ・第1条～第11条について、理解する ・海上交通特に港内の安全について考えることができる。 ○海難審判所で審判された実際の海難事例を通し、予防法・港則法の「航法」について、適用される条文を考え、同法律について理解する。 ○定期考査解答・解説し、学習の定着を図る。 ○課題に対し、個別学習後、グループ学習(対面せず)、発表等を主体的、協働的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する回答等取り組み[関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解] ・小テスト ・定期考査 ・自己評価(主体的・協働的) 	6
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○港則法 <ul style="list-style-type: none"> ・第4 危険物 ・第5 水路の保全 ・第6 灯火 ・雑則 *第3回考査 	<ul style="list-style-type: none"> ○港則法について <ul style="list-style-type: none"> ・第12条～第30条について、理解する ・海上交通特に港内の安全について考えることができる。 ○海難審判所で審判された実際の海難事例を通し、予防法・港則法の「航法」について、適用される条文を考え、同法律について理解する。 ○課題に対し、個別学習後、グループ学習(対面せず)、発表等を主体的、協働的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する回答等取り組み[関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解] ・小テスト ・自己評価(主体的・協働的) 	6

1 月	<p>第2節 海上交通安全法及び同法施行規則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1 総則 ・第2 交通方法 <p>航路における一般的航法及び代表的な航路の航法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全法 <ul style="list-style-type: none"> ・第1条・第2条 ・第3条～第21条について、理解する。 ・海上交通特に特定航路の安全について考えることができる。 ○ 課題に対し、個別学習後、グループ学習（対面せず）、発表等を主体的、協働的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問に対する回答等取り組み[関心・意欲・態度] ・自分なりの解答を表現できているか。[思考・判断・表現] ・航法の適用条文の内容について正しく理解しているか[知識・理解] ・小テスト ・自己評価（主体的・協働的） 	4

東京都立大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科水産 科目マリンスポーツ 年間授業計画

教科：水産 科目：マリンスポーツ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 B組 選択者

教科担当者：今西 弘憲、伊藤 陽介、片桐 康佑

使用教科書：

使用教材：

	指導内容	科目マリンスポーツの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 1. 海の活用と環境保全（海の有効活用）	環境の保全と安全確保を重視し、海洋の有効な活用について理解させる。 各種マリンスポーツの概要について理解させる。 漁業者等他に海を利用している人と一緒に活動する上で守らねばならない基本的ルールを理解させる。	プリント作成・提出内容等にて評価する。	4相当
5月	【課題学習】 1. 海の活用と環境保全（海の有効活用）	漁業調整規則、漁業権、海区漁業調整委員会指示等やSOLAS条約など国際条約による立ち入り禁止区域、環境保全等のルールを理解させ、漁業者と遊漁者とのより良い関係を築くために何が必要か理解させる。	プリント作成・提出内容、調べ学習の内容にて評価する。	4相当
6月	【Web授業】 2. カヌー	カヤックに関する基礎知識(カヌー活動の基本的注意事項、カヌー活動の多様性、起源・語源及び近代カヌー史など)及び必要な設備・器具の各部名称・説明・取扱い及び点検・整備の方法、ウェアリングの重要性等を理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 後日提出させるワークシートの内容評価 「思考・判断」 Web授業中の質疑応答等による 「知識・理解」 Web授業中におこなう練習問題による	2相当

7 月	<p>【通常授業】 2. カヌー (プール)</p>	<p>カヤックに関する基礎知識（カヌー活動の基本的注意事項、カヌー活動の多様性、起源・語源及び近代カヌー史など）及び必要な設備・器具の各部名称・説明・取扱い及び点検・整備の方法、ウェアリングの重要性等を理解・習得させる。 基本的なパドリング技術を理解・習得させる。 沈脱・セルフレスキュー及びグループレスキュー（TXレスキュー）の技術を理解・習得させる。（プールにて実施）</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 授業中に実施する実技テスト等による</p> <p>「思考・判断」 授業中の質疑応答等による</p>	9
--------	--------------------------------	--	--	---

9月	<p>【通常授業】 3. 安全指導と安全管理</p>	<p>海洋における安全確保を学習するにあたり、管理水域における安全管理・緊急時の対応に関する基礎知識等について理解させる。</p> <p>水中環境と陸上環境の違いを理解させ、水の事故から身を守る知識及び技術(泳ぎの基本)について習得させる。くらげ浮き・伏し浮・仰向け浮き・立ち泳ぎ・スカーリング等を習得させる。</p> <p>水中環境と陸上環境の違いを理解させ、水の事故から身を守る知識及び技術(泳ぎの基本)について習得させる。くらげ浮き・伏し浮・仰向け浮き・立ち泳ぎ・スカーリング等を習得させる。</p> <p>器材(レスキューチューブ・レスキューボードなど)を使用しての救助方法について理解させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 授業中に実施する実技テスト等による</p> <p>「思考・判断」 授業中の質疑応答等による</p>	8
10月	<p>【通常授業】 4. フィッシング</p>	<p>釣り用具と装備、ルールやマナーを守り安全なフィッシングに関する基礎的な知識・技術を習得させると共に、生命の尊さを理解させる。 漁業調整規則、漁業権、海区漁業調整委員会指示等やSOLAS条約など国際条約による立ち入り禁止区域、環境保全等のルールを理解させ、漁業者と遊漁者とのより良い関係を築くために何が必要か理解させる。</p> <p>フィッシングに関する基礎的な知識・技術を習得させると共に、事故予防の為にどのように取り組むことが良いか理解させる。また、目標に向かってキャストできるだけの技術を身に付けさせる。</p> <p>釣り実習(陸釣り)を通して、釣りに行く前の情報収集及び釣り場での注意事項、納竿後の器材の手入れ保管等について実習を通して理解させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 授業中に実施する実技テスト等による</p> <p>「思考・判断」 授業中の質疑応答等による</p>	6
11月	<p>【通常授業】 6. カヌー(海)</p>	<p>堤防や磯、砂浜等の地域環境及び活動海域の特性について理解させ、事故防止及び安全対策等について理解させる。海洋実習を通し、安全な出艇方法・上陸方法について理解させる。</p> <p>海洋での実習を通し、基本的な知識・技術(パドリング、ラダー操作等)の定着を図る。</p> <p>海洋での実習を通し、基本的な知識・技術(パドリング、ラダー操作、セルフレスキュー等)の定着を図る。</p> <p>海洋での実習を通し、基本的な知識・技術(セルフレスキュー・TXレスキュー等)の定着を図る。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 授業中に実施する実技テスト等による</p> <p>「思考・判断」 授業中の質疑応答等による</p>	8
12月	<p>【通常授業】 7. レジャーダイビング</p>	<p>ダイビング器材(タンク・BC・レギュレーター、マスク、スノーケル等)の取り扱い及び保守点検方法について理解する。</p> <p>ダイビング器材(タンク・BC・レギュレーター、マスク、スノーケル等)の取り扱い及び保守点検方法について理解する。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による</p> <p>「技能・表現」 授業中の行動などによる</p> <p>「思考・判断」 授業中の質疑応答等による</p>	2

1 月	【通常授業】 6. 海の活用と環境保 全 (自然環境保 全)	大島各地域にある海岸にてビーチコーミングを行い、海洋環境がマリンスポーツにどのように影響を与えるのかを理解させる。	「関心・意欲・態度」 「授業への参加意欲・態度」などの観察による 「技能・表現」 授業実施後のレポート提出による 「思考・判断」 授業中の質疑応答等による	4
		大島各地域にある海岸にてビーチコーミングを行い、海洋環境がマリンスポーツにどのように影響を与えるのかを理解させる。		

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：水産 科目：操船 年間授業計画

教科：水産 科目：操船 単位数：2単位

対象学年組：第3学年B組

教科担当者：(B組：今西 弘憲 ㊦ 磯貝 大介 ㊦ 伊藤 陽介 ㊦ 北原 あゆみ ㊦)

使用教科書：(小型船舶操縦士実技教本)

使用教材：()

	指導内容	科目操船の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	課題学習	操船実習に関するプリント(発声要領・各部名称・使用船舶のスペック)を演習させる事で、学校再開後にスムーズに実習を行えるようにする。	意欲・関心・態度を提出された課題から判断する。	4相当
5月	課題学習	配布したテキストによる発声要領の確認	意欲や取り組み状況を実習再開後の操船で確認し評価する。	4相当
6月				
			小型船舶操縦士の免許取得	

7 月	小型船舶の取り扱い 基本操縦	<p>発航前の準備及び点検 解らん・係留・結索・方位測定 安全確認 発進・直進・停止・後進・変針・旋回 に関する技術と知識を身に付けさせる。</p>	<p>に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>各実習において自ら課題を設定し、その解決策を考え、その結果を考察する姿勢を評価する。</p> <p>実技演習・口頭質問等により評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種実技演習・修了試験などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	6
--------	-------------------	--	--	---

9月	<p>【以降通常授業】 小型船舶の取り扱い 基本操縦</p>	<p>発航前の準備及び点検 解らん・係留・結索・方位測定 安全確認 発進・直進・停止・後進・変針・旋回 に関する技術と知識を身に付けさせる。</p>	<p>小型船舶操縦士の免許取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>各実習において自ら課題を設定し、その解決策を考え、その結果を考察する姿勢を評価する。</p> <p>実技演習・口頭質問等により評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種実技演習・修了試験などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	8
10月	<p>基本操縦 応用操縦</p>	<p>安全確認 発進・直進・停止・後進・変針・旋回 人命救助・避航操船・離岸・着岸 に関する技術と知識を身に付けさせる。</p>	<p>小型船舶操縦士の免許取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>各実習において自ら課題を設定し、その解決策を考え、その結果を考察する姿勢を評価する。</p> <p>実技演習・口頭質問等により評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種実技演習・修了試験などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	8
11月	<p>修了試験要領説明 習熟航海 修了試験</p>	<p>小型船舶取り扱い・基本操縦・応用操縦全てに関する技術と知識を身に付けさせる。</p>	<p>小型船舶操縦士の免許取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>各実習において自ら課題を設定し、その解決策を考え、その結果を考察する姿勢を評価する。</p> <p>実技演習・口頭質問等により評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種実技演習・修了試験などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	8
12月	<p>修了試験要領説明 習熟航海 修了試験</p>	<p>小型船舶取り扱い・基本操縦・応用操縦全てに関する技術と知識を身に付けさせる。</p>	<p>小型船舶操縦士の免許取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>各実習において自ら課題を設定し、その解決策を考え、その結果を考察する姿勢を評価する。</p> <p>実技演習・口頭質問等により評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種</p>	8

			<p>授業中の質問・態度・各種実技演習・修了試験などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	
1月	<p>修了試験要領説明 習熟航海 修了試験</p>	<p>小型船舶取り扱い・基本操縦・応用操縦全てに関する技術と知識を身に付けさせる。</p>	<p>小型船舶操縦士の免許取得に関心を持ち、意欲的且つ安全を考えながら学習に参加する態度を評価する。</p> <p>各実習において自ら課題を設定し、その解決策を考え、その結果を考察する姿勢を評価する。</p> <p>実技演習・口頭質問等により評価する。</p> <p>授業中の質問・態度・各種実技演習・修了試験などの取り組みやその結果によって評価する。</p>	4相当